

Netcommunity SYSTEM α GX IPコードレス電話機

取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム α GX IPコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。









安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（●P11）に従って消去願います。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解・改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

 **危険**

● 電池パックの充電は、本商品に装着し、専用の充電台を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
- ・ 直接はんだ付けしない。
- ・ プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない。
- ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。

● 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について



警告

- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



お取り扱いについて



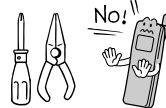
警告

- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

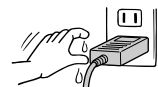


- 万一、煙が出ている、変なおいがるなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所にて修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を分解、改造しないでください。本商品の改造は電気法に抵触するおそれがあります。また、火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



- 本商品や充電台に水をかけたり、ぬれた手でのご操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 警告

● 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 充電台の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 充電台の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり、本商品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の充電をやめ、電池パックを外し、充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

● 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

● 充電台の電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 充電台の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



- 自動車などの運転中に、絶対に本商品进行操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

- 歩行中に、絶対に本商品进行操作したり、見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

- 端子は定期的に乾いた綿棒等で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、充電ができなくなることがあります。汚れた時は、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

- 本商品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



- 本商品を熱器具に近づけないでください。本商品の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

- 近くに雷が発生したときは、すぐに充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



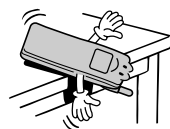
- 充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



設置について

⚠ 注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。



お取り扱いについて

⚠ 注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 充電台の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品や充電台をお手入れするときは、安全のため必ず充電台の電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検を受けられることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

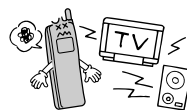
安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 本商品の液晶ディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

- 本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 無線アクセスポイントとIPコードレス電話機間、またはIPコードレス電話機どうし間は1 m以上離してご使用ください。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



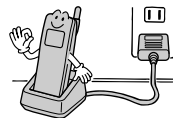
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。本商品は使用できません。

- 充電台の電源アダプタを抜いたままにしないでください。

- ・ 電池が消耗すると本商品が使用できません。
- ・ 本商品が充電できません。
- ・ 本商品のクイック発信が設定されている場合、充電中に充電台の電源アダプタが外れると、本商品はお話し中の状態となります。



- 本商品の電源はいつも「ON (入)」にしてください。「OFF (切)」になっていると、電話がかかってきても受けられません。お買い求め時は「OFF (切)」になっていますので、必ず「ON (入)」にしてからお使いください。

- 本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、充電ランプの点灯を確認してください。

- 本商品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ・ ぬらさないでください。
- ・ 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- ・ 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- ・ IPコードレス電話機に水滴が付いたまま、充電台に戻さないでください。
- ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



- 本商品は無線LANを使用し、通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

電波干渉について

本商品の無線方式には、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用する無線LANを用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、Bluetooth®など）が使用していますので、電波の干渉により、お話し中に音声途切れたり聞き取りにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼす場合があります。下記の内容に注意してください。

STOP お願い

● 電子レンジなどを使用中に、近くで使用すると、音声途切れたり、使えなくなることがあります。充電台は電子レンジなどから離して設置し（目安：3 m以上）、IPコードレス電話機本体も電子レンジなどの近くで使わないでください。

● ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。

● 他の無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品を使用すると、音声途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を与えることがあります。本商品を、他の無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。

● その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。

これらの機器の周辺では、音声途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。

- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・工場や倉庫などの物流管理システム
- ・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・火災報知器
- ・マイクロ波治療機
- ・自動ドア、自動制御機器
- ・アマチュア無線局
- ・Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）など

● 本商品は、2.400~2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS方式」、想定干渉距離は30 mです。本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

2.4 D S 3

電波に関するご注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、当社のサービス取扱所にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表の処置に従って情報を消去（ローカルデータ初期化）してください。

記録内容		処置
電話帳	アドレス帳	<手順> ①待ち受け状態で、 (戻る) ボタン、 (設定) の順に押す。 ローカルデータ初期化画面が表示されます。 ②上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。 ③上下ボタンで「続行」を選択し、決定ボタンを押す。 ④ (電源) ボタンを押す。 IPコードレス電話機が自動的に再起動します。
メール設定	名前	
	電子メールアドレス	
	返信メールアドレス	
	受信メール (POP)	
	送信メール (SMTP)	
	POP BEFORE SMTP	
	アカウント名	
	パスワード	
	受信メール (POP) のポート番号	
	送信メール (SMTP) のポート番号	
	署名	
無線関連設定	SSID	
	暗号化タイプ	
	IP アドレス	
	DNS サーバ	
	情報取得アドレス	
	情報取得ポート	

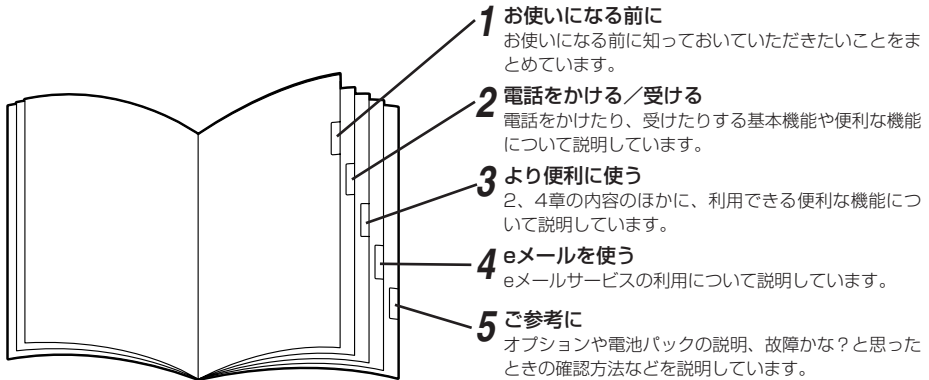
この取扱説明書の見かた

この取扱説明書は、ネットコミュニティシステムαGXの電話機としてご利用になれるIPコードレス電話機の機能を説明しています。主装置および無線アクセスポイントの取扱説明書とあわせて参照してください。

<取扱説明書> ▶ ネットコミュニティシステム αGX typeL 取扱説明書

▶ Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション取扱説明書

この取扱説明書の構成



操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。

Q&A参照アイコン

第5章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには (外線発信)

電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)

1 電話番号をダイヤルボタンで押す。電話番号が表示されます。

2 外線ランプが点灯していることを確認し、外線ボタンを押す。外線ランプが点灯し、自動的に2回発信します。

3 相手の方が出たら、お話しする。通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、[END] ボタンを押す。

ワンポイント

- 相手の名前を覚えておくには (見出し書) (#P27)
- 通話相手の名前を確認するには (見出し書) (#P27)
- ボタンを押すと、最後の桁から1桁ずつ消滅されます。 [ON] ボタンを押すと、格別受け状態に戻ります。
- フォンセンターサービスを利用するには (#P31)
- 通話時間が一定時間を超えたときは (通話時間超過通知) (#P31)
- 電話番号ダイヤルについて (#P31)
- 通話中に一度 (留守待機) する場合は1〜5秒の間一応受け入れられることができます。手動で、再接入を拒否するには必ず [ON] ボタンを押す必要があります。

お知らせ

- フリットダイヤルは、32回までダイヤルできます。
- ダイヤル番号を途中で中断した場合、システムに応じて再接入が拒否される場合があります。再接入が拒否されると通話ディスプレイは待ち受け状態の画面に戻ります。

ダイヤルボタンが一定時間押されている場合は? (#P113)

呼び出し音が鳴らない場合は? (#P113)

通話ディスプレイに表示される通話情報は? (#P113)

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなくなったり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ず お読みください	2
この取扱説明書の見かた	12

1 お使いになる前に

特長	16
セットを確認してください	17
各部の名前	18
このような画面が 表示されているときは	22
IPコードレス電話機の動作について	23
IPコードレス電話機の特性について	23
電話機の準備をします	24
音量を調節するには	27
受話音量を調節する	27
着信音量を調節する	28
電話機のメニュー機能进行操作します	29

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）	30
使用する外線を選んで電話をかける	30
電話番号を確認してからかける （プリセットダイヤル）	32
空いている外線を選んで電話をかける （空き外線自動捕捉）	33
空いている外線を選んで電話をかける （自動発信可能な外線の中から選ぶ）	34
電話がかかってきたときは（外線着信）	35
別の電話機で応答するには（代理応答）	37
同一電話機グループ内の着信に 応答する	37
他のグループの着信に応答する	38

ドアホン、同一電話機グループ内 および他電話機グループ内の 着信に応答する	38
着信中の電話機を指定して応答する	39
相手の方に待っていただくには（保留）	40
普通に保留する（共通保留）	40
他の電話機で取れないように保留する （個別保留）	41
同じパーク保留ボタンを設定した 電話機で取れるように保留する （パーク保留）	42
電話を取りつぐには	43
電話を取りつぐ（保留応答）	43
電話を取りつぐ（共通保留転送）	44
内線でお話しするには（内線通話）	46
ワンタッチボタンで電話をかけるには	48
ワンタッチボタンに登録する	48
ワンタッチボタンで電話をかける	49
ワンタッチボタンの 登録内容を確認する	49
不在のときに電話がかかってきたときは （不在着信転送）	50
不在着信転送を設定する	50
不在着信転送を解除する	52

3 より便利に使う

システム電話帳とアドレス帳	53
共通電話帳	53
個別電話帳	53
アドレス帳	54
文字を入力するには（システム電話帳）	55
漢字・かなモード	55
カナモード／英字モード	56
数字モード	56

目次

文字を入力するには		
（アドレス帳／eメール）	58	
漢字モード	58	
カタカナモード／英字モード	59	
数字モード	59	
電話帳ダイヤルでかけるには	61	
メモリ番号で検索してかける	61	
フリガナで検索してかける	62	
電話帳グループの電話番号を 検索してかける	64	
電話帳に登録するには（電話帳ダイヤル）	66	
電話帳に登録する	66	
電話帳を修正するには	68	
電話帳を削除するには	70	
電話帳グループの名前をつけるには （個別電話帳）	71	
発信履歴や着信履歴の電話番号を 登録するには	72	
前に電話をかけた相手に再びかけるには （発信履歴）	74	
発信履歴を削除するには	75	
発信履歴を選択して削除する	75	
すべての発信履歴を削除する	76	
電話をかけてきた相手にこちらから かけるには（着信履歴）	77	
着信履歴を削除するには	78	
着信履歴を選択して削除する	78	
すべての着信履歴を削除する	79	
アドレス帳ダイヤルでかけるには （アドレス帳）	80	
メモリ番号で検索してかける	80	
読み仮名を検索してかける （行検索）	81	
アドレス帳に登録するには	82	
アドレス帳に登録する	82	
アドレス帳を修正するには	84	
アドレス帳を削除するには	86	
キータッチトーンの設定をするには	87	
着信音を変えるには	88	
電話の着信音を変更する	88	
メールの着信音を変更する	89	
着信を振動で知らせるには （バイブレーション着信）	90	
バイブレーション着信を設定する	90	
バイブレーション着信を解除する	91	
マナーモードを設定するには	92	
マナーモードの機能を設定する	92	
マナーモードを設定する	94	
マナーモードを解除する	94	
誤操作を防止するには （キーロック）	95	
キーロックを設定する	95	
キーロックを解除する	95	
ロックナンバーを変更する	96	
クイックモードを設定するには	97	
クイックモードを設定する	97	
クイックモードを解除する	97	
省電力モードを設定するには	98	
省電力モードを設定する	98	
省電力モードを解除する	98	
液晶ディスプレイのコントラストを 変えるには	99	

4 eメールを使う

eメールを作成して送信するには	100
1.宛先を入力する	100
2.件名を入力する	101
3.本文を入力する	101
4.作成したeメールを送信する	102

eメールを受信するには	103
eメールを受信する	103
受信したeメールを表示する	104
受信したeメールを返信／転送する	105
手動でeメールを受信する	106
eメールを削除するには	107
メールを1件削除する	107
すべての受信メール、 または送信メールを削除する	108
署名をつけるには	109
署名を作成する	109
署名をつける	110

5 ご参考に

Q&A	111
メニューボタンで設定できる	
機能の一覧	113
無線LANとネットワークの	
設定をするには	116
接続情報を設定する	116
スキャンチャンネルを設定する	119
同時に通話できるIPコードレス電話機の	
台数を制限するには	120
最大通話数を設定する	120
最大通話数の設定を有効にする	121
無線LANとネットワークの設定を	
自動で行うには	122
無線アクセスポイントに 自動登録する	122
eメールをご利用になる前に	123
eメールを設定するには	124
ユーザ情報を設定する	124
サーバ情報を設定する	126

アカウント名とパスワードを 設定する	127
サーバのポート番号を設定する	129
新着メッセージのチェック間隔を	
設定するには	131
eメールのその他の設定	132
サーバメッセージ保存設定	132
引用文設定	133
電池パックの取り扱い	134
電池の残量がなくなったときは	135
オプションをご利用になるには	136
通話できる範囲から外れたときは	
(圏外)	138
各種機能を利用するための特番一覧	139
こんな音がしたら	142
故障かな?と思ったら	143
停電になったとき	146
用語の説明	147
索引	151
仕様	155
保守サービスのご案内	156
著作権と使用許諾	157
搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報	157

無線LAN

IEEE802.11b対応の無線アクセスポイントを使用し、最大11Mbps（理論値）の高速データ伝送が可能です。

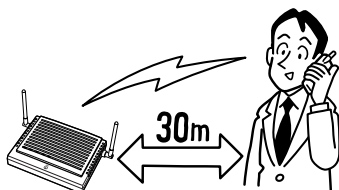
ご利用になれるネットコミュニティシステム・ビジネスホンのシリーズ

本商品は、次のネットコミュニティシステム・ビジネスホンでご利用になれます。

- ・ネットコミュニティシステム αGX typeL
(平成19年9月現在)

持ち運びが自由

無線アクセスポイントから半径約30 m程度（見通し距離）まで、お話ししながら移動できます。



豊富な電話機能

標準電話機と同等に、各種メニュー操作・マルチライン機能などをご利用いただけます。電話を受けられないときなどに録音する音声メール機能や、他の内線電話機との間でお話ししたり（●P46）、外の相手の方のお話しを他の内線電話機に取りつづることができます。（●P43）

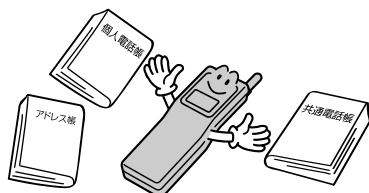


eメールサービス対応

eメールがご利用になれます。このサービスをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

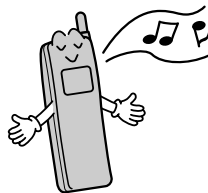
使いやすい電話帳

システムで共通に利用できる800件の共通電話帳と、IPコードレス電話機ごとに登録できる100または200件の個別電話帳、IPコードレス電話機内に登録できる500件のアドレス帳をメモリ番号検索、フリガナ全検索（共通電話帳、個別電話帳）、フリガナ検索（共通電話帳、個別電話帳）または行検索（アドレス帳）、グループ検索（共通電話帳、個別電話帳）と、用途に合わせて5つの検索で利用することができます。



お好みの着信メロディを選択

着信メロディを選択して登録できます。また、着信メロディを追加して、お好みのメロディを設定することができます。



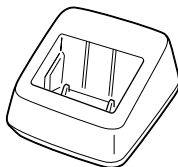
マナーモードやバイブレータ設定にも対応

会議中に使用する場合など、着信音を鳴らしたくないときのために、マナーモードやバイブレータを利用することができます。

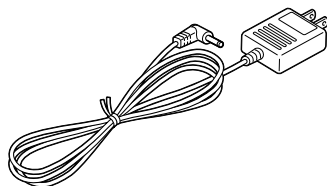
セットを確認してください



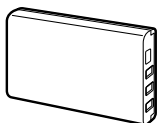
IPコードレス電話機
本体 (1台)



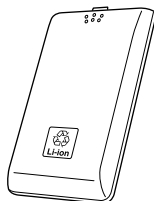
充電台 (1台)



電源アダプタ (1本)
(コード: 約1.5 m)



電池パック (1個)

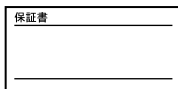


電池カバー (1個)

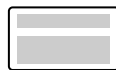
■付属品



取扱説明書ダイジェスト (1部)



保証書 (1枚)



使用上の注意シール (1枚)

1 お使いになる前に
特長 セットを確認してください

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書ダイジェストに乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

着信／充電ランプ

電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤く点灯します。

外線ボタン

外に電話をかけるときに押します。また、主装置のデータ設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

メニュー／カナ／英ボタン

他のボタンと組み合わせていろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使います。

内線ボタン

内線でお話するときに使います。

クリアボタン

入力した電話番号や文字を削除するとき、ひとつ前の画面に戻るときに使います。

通話／フックボタン

電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力するときに使います。

アンテナ

受話口

液晶ディスプレイ

ダイヤルモニタやいろいろな状態表示を行います。

電話帳ボタン

電話帳を登録するとき、電話帳を使って電話をかけるときに使います。

上下左右ボタン（着信履歴ボタン／発信履歴ボタン）／決定ボタン

電話帳やメニュー機能の検索、発着信履歴の確認に使います。受話音量、着信音量およびスピーカ音量を切り替えるときにも使います。

保留ボタン

電話を保留するときに使います。

切／電源ボタン

電源を入／切するとき、通話を終えるときに使います。

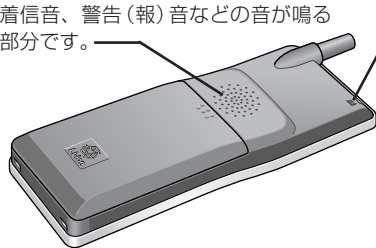


送話口

スピーカ

着信音、警告（報）音などの音が鳴る部分です。

ハンドストラップ取付穴



イヤホンマイク差込口

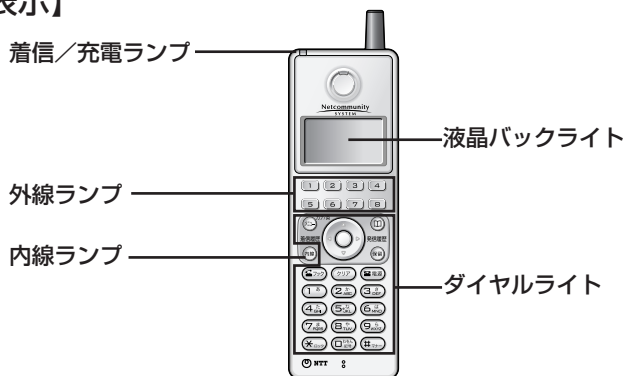
オプションのヘッドセットを接続して使用します。

USB差込口

パソコンと接続するときに使います。

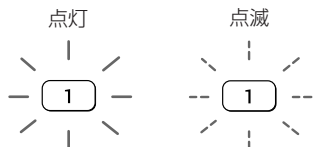
※ダイヤルボタン (5並) の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた(色)	電話機の状態
外線ランプ	2回消える (緑)	自分の電話機でお話し中のとき
	点灯 (赤)	他の外線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅 (赤)※	電話がかかってきたとき
	遅い点滅 (赤)	他の外線電話機が保留中のとき
内線ランプ	2回点灯 (緑)	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき
	2回消える (緑)	自分の電話機で内線通話をしているとき
ダイヤルライト	2回点灯 (緑)	自分の電話機で内線通話を保留中のとき
液晶バックライト	点灯 (緑)	ダイヤルボタンなどの操作をしているとき
着信/充電ランプ	点灯 (白)	液晶バックライトが点灯しているとき
	点灯 (緑)	充電がほぼ完了したとき
	点灯 (赤)	充電中のとき
	遅い点滅 (赤)	電話機の充電台への置きかたに異常があったり、電池の異常で充電できないとき
	点滅 (赤)	電話がかかってきたとき

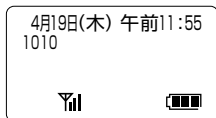
※個別着信の場合は緑色になります。

各部の名前

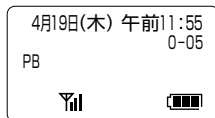
【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ご利用の回線によって異なります。この取扱説明書では、特に断りがな
い限りダイヤル回線をご利用の場合を例として説明していきます。

<日付・時刻・自分の内線番号表示例>



<通話時間表示例>

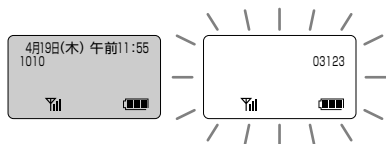


■ディスプレイの表示例

待機中	4月19日(木) 午前11:55 1001	待機中のときに表示されます。
(DP)回線 外線発信	外線	ダイヤル回線で外に電話をかけるときに表示されます。
(PB)回線 外線発信	外線 PB	プッシュ回線で外に電話をかけるときに表示されます。
(ISDN)回線 外線発信	外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。
(VoIP)回線 外線発信	外線 VoIP	IP電話サービスで外に電話をかけるときに表示されます。
(DP)回線 外線通話	4月19日(木) 午前11:55 PB 0-05	ダイヤル回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(PB)回線 外線通話	4月19日(木) 午前11:55 PB 0-05	プッシュ回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(ISDN)回線 外線通話	4月19日(木) 午前11:55 PB ISDN 0-05	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(VoIP)回線 外線通話	4月19日(木) 午前11:55 PB VoIP 0-05	IP電話サービスで外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
送出 キーパッド	キ-パ-ド送出モード ISDN	キーパッド送出が可能なきに表示されます。

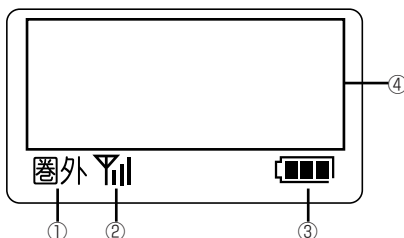
ワンポイント

- ディスプレイのバックライトとは
ボタン操作、着信したときにディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくします。



<バックライト消灯> <バックライト点灯>

■マークの見方



① 圏外	無線アクセスポイントとの通信可能エリア外であることを表します。この表示があるときは、電話をかけたり受けたりできません。
②	無線アクセスポイントから受けている電波の強さを4段階で表します。電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
③	電池残量の目安を4段階で表します。電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
④ 表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。次の表示で各種の状態をお知らせします。 ・「」：キーロック（●P95） ・「」：マナーモード（●P92） ・「」：未確認の受信メールあり（●P103）



ワンポイント

●ディスプレイの表示をクリアするには（表示クリア）

クリア ボタンを押すと、表示内容をクリアすることができます。ただし、ディスプレイにピクトグラム（PB、ISDN、不在着信転送など）表示中の場合は、ピクトグラムの表示はクリアされません。

●「システム設定」とは

ネットコミュニティシステムαGX typeLの設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



お知らせ

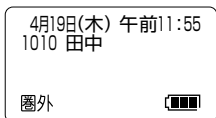
- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留などを行うといったんクリアされます。ただし、保留を解除すると、保留時間も含めて、継続して表示されます。
- VoIP回線とは、ブロードバンド回線を使って電話の発着信がご利用になれる回線のことです。VoIP回線をご利用になるには、フレッツADSLやBフレッツ等のブロードバンド回線とプロバイダ等との利用契約が必要となります。


- 通話時間は、国際電話のとき、専用線をお使いのときにも表示されます。
- 「システム設定」により、マイラインまたはマイラインプラスの契約内容に対応した発信規制を行うことができます。

このような画面が表示されているときは

圏外マークが表示されるとき

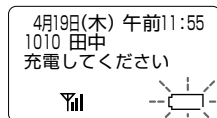
サービスエリア以外の場所や、電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません（「通話できません」と表示されることもあります）。



対処方法：  マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

☐マークが点滅し、「充電してください。」と表示されているとき

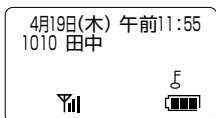
電池がなくなりかけています。このとき、「ピー」という電池残量警報音が鳴ります。（☛P135）



対処方法：電話機を充電してください。
<電話機を充電する>（☛P25）

🔒マークが表示されるとき

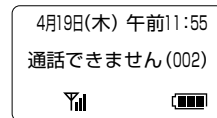
誤操作を防止するキーロックが設定されています。



対処方法：キーロックを解除してください。
<キーロックを解除する>（☛P95）

「通話できません」と表示されているとき

主装置と接続できていないため、通話できません。

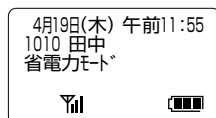


対処方法：IPコードレス電話機が正しく設定されているか、また、ネットワークが正しく接続されているか、確認してください（無線アクセスポイント等の電源をご確認ください）。

不明な場合は、当社のサービス取扱所またはお問い合わせになった販売店へご相談ください。

「省電力モード」と表示されているとき

電池の使用可能時間を延ばすために外線ランプの表示を消灯しています。



対処方法：いずれかのボタンを押してください。

<省電力モードを設定するには>（☛P98）

IPコードレス電話機の動作について

本商品をご利用になるには、αGX typeL主装置の設定が必要です。

IPコードレス電話機の特性について

- 使用中や充電中、IPコードレス電話機があたたかくなることがありますが、故障ではありません。そのままご使用ください。
- 下記のような場合には、電話機の通信品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - 無線の帯域が十分取れていない場合
 - 他の無線LANシステムや、電子レンジ等の外来ノイズが多くなった場合
 - IPコードレス電話機を遮蔽物の多い場所で使用しようとしたとき
 - IPコードレス電話機を制御するコマンドがIPコードレス電話機に届かなかった場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
- ローミングしたときや、圏外へ一度移動したときなど、電話機の状態とランプ表示が異なる状態となるときがあります。
データのエラーを検出した場合には、自動的にリフレッシュします。
- 主装置に複数の無線アクセスポイントを接続することにより、IPコードレス電話機を使用する範囲を広くすることができます。
無線アクセスポイントの増設については当社のサービス取扱所にご依頼ください。

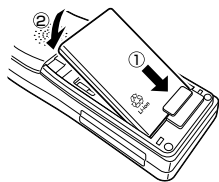
電話機の準備をします

セットの確認が終わりましたら、本体に電池をセットし、充電を行ってください。

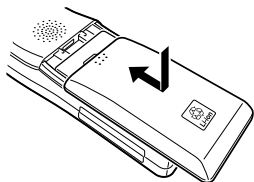
■電話機の準備をする


- 1** 下部の電極に押し当てながら (①)、電池パックを電話機にセットする (②)。

電池パックの印刷面が表になるようにセットしてください。

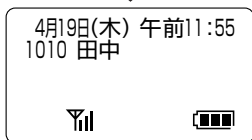
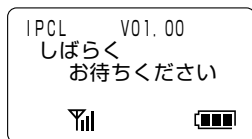
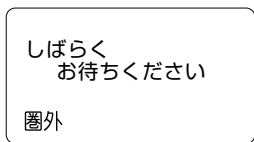
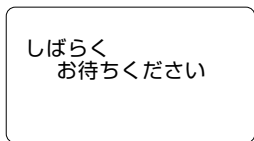


- 2** 同梱の電池カバーを取り付ける。




- 3**  ボタンを2秒以上押す。

しばらくすると液晶ディスプレイが待ち受け状態に変わります。



待ち受け画面には、日付、時刻、お客様のIPコードレス電話機に登録された内線番号が表示されます。

ワンポイント

- 電源を切るときは  ボタンを2秒以上押してから離します。

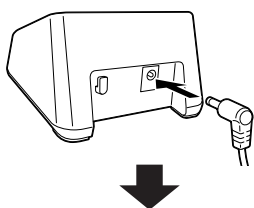
お知らせ

- 電源を入れたとき、一瞬ランプが点灯することがありますが異常ではありません。
- 電話機に内蔵された時計の日付と時刻は自動で設定されます。

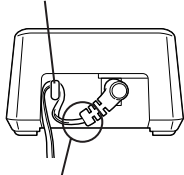
■電話機を充電する

充電台は、必ず同梱されている専用の充電台と電源アダプタをお使いください。

- 1** 電源アダプタのコネクタを充電台に接続し、ケーブルを抜け止め用フックに掛ける。

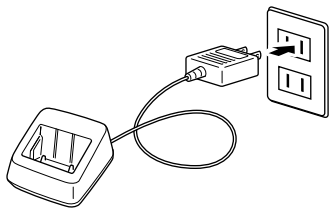


抜け止め用フック



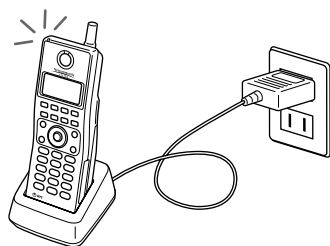
ケーブルが、コネクタの根元で折れ曲がらないようにご注意ください。

- 2** 電源アダプタを電源コンセント (AC100V) に差し込む。



- 3** 電話機を充電台に置き、6時間以上充電する。

充電台に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。



お知らせ

- 電話機の充電ランプは、充電がほぼ終了すると緑の点灯に変わります。
- 充電中は、充電台や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は自動的に電源が入ります。

STOP お願い

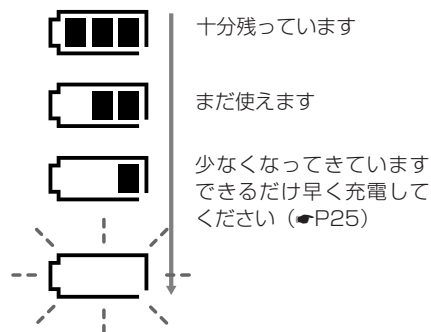
- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず6時間以上充電してください。十分に充電されていない場合は、電話機は使用できません。
- 電話機および充電台がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5~35℃の間で行ってください。5℃以下や35℃以上のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- 電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いてても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ、約5分ほどで充電ランプが点灯します。

電話機の準備をします

■電池残量を確認する

電池残量は、液晶ディスプレイに表示されます。電池残量はご利用いただける目安の表示です。

電池残量



電池パックを交換したときは、必ず6時間以上充電してください。(P134)

(電池の使用可能時間の目安)

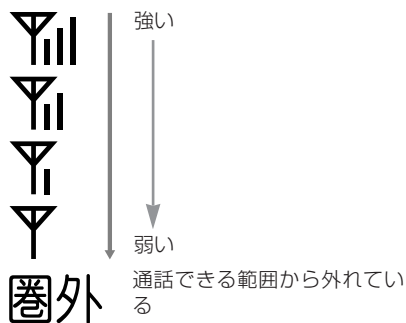
条件	使用可能時間
待ち受け	約60時間
連続通話	約4.5時間

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲の温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、無線アクセスポイントからの電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の数値とは異なります。
- 外線ランプが表示されていると電池の消耗が多くなり、表中の数値とは異なります。数値は外線ランプの使用状態により変わります。
- 「充電してください。」の表示が出た場合は、通話中、発信中以外はダイヤルボタンが入力できなくなります。

■電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、液晶ディスプレイに が表示されます。また5段階で電波の強さを表示します。

電波の強さ



- 圏外では、お話しすることはできません。(P138)

● お知らせ

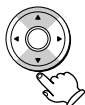
- 、 では電波が弱いため、通話ができにくくなります。 で使用することをお勧めします。
- 電波状態によっては、 と表示されていても、音声通話が途切れることがあります。
- 無線アクセスポイントから30 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合がありますので、あらかじめ内線通話によりお話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 電波の強い場所でも無線アクセスポイントなどに登録動作を行っているときは、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 通話中に圏外になると、通話が切れることがあります。速やかに電波状況の良い場所に移動してください。

音量を調節するには

受話音量を調節する

通話中に受話音量を3段階に調節できます。

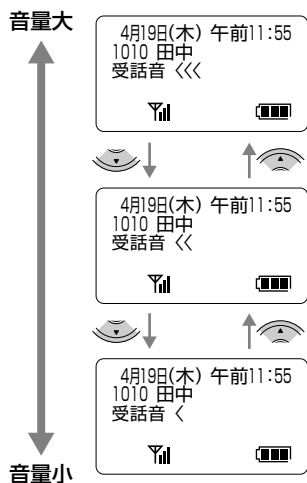
1 通話中に上下ボタンを押す。



2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に受話音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

<例>内線通話の場合



お知らせ

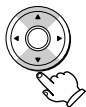
- 音量が最大のときまたは最小のときは、最大のときに上ボタンを、最小のときに下ボタンを押しても、音量やディスプレイの表示は変わりません。
- 設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- 受話音量設定後すぐに電源を切ると、設定が保持されないことがあります。

音量を調節するには

着信音量を調節する

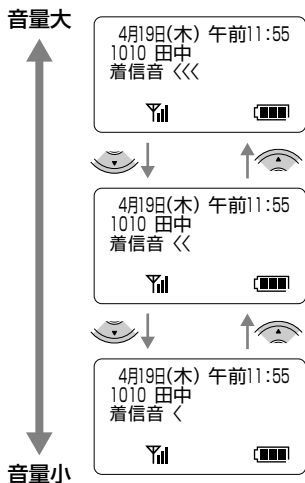
電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを3段階に調節できます。

- 1** 待ち受け状態または着信中に、上下ボタンを押す。



- 2** 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に着信音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ

- 音量が最大のときまたは最小のときは、最大のときに上ボタンを、最小のときに下ボタンを押しても、音量やディスプレイの表示は変わりません。
- 着信中でも上下ボタンで着信音量の調節が出来ない場合があります。待ち受け状態で着信音量の調節をしてください。
- 着信音量の設定は、電源を切っても保持されます。
- マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。
<マナーモードの機能を設定する> (●P92)

電話機のメニュー機能を実行します

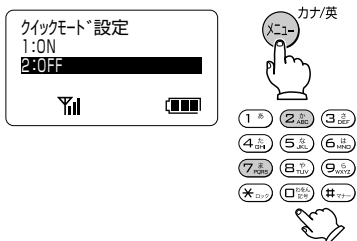
各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

本書では、「メニュー番号で選ぶには」の操作方法で説明しています。

■メニュー番号で選ぶには

＜例＞メニュー番号27（クイックモード設定）の場合

- 1 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**2** か ABC **7** ま PQRS の順に押す。
「クイックモード設定」画面が表示されます。



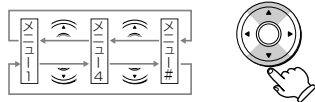
- 2 以降、登録・設定操作を行う。

■メニューを検索して選ぶには

＜例＞メニュー番号27（クイックモード設定）の場合

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
カナ/英

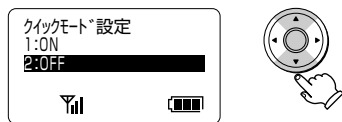
- 2 上下ボタンで「IPCL機能メニュー」を選択する。
メニューがスクロール表示されます。



- 3 決定ボタンを押す。



- 4 上下ボタンで「クイックモード設定」を選択し、決定ボタンを押す。
「クイックモード設定」画面が表示されます。



- 5 以降、登録・設定操作を行う。

ワンポイント

- ひとつ前の画面に戻るには
決定ボタンの代わりに、**クリア** ボタンを押します。
- 操作を中止、または終了するには
電源 を押します。待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

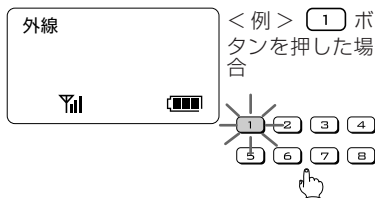
- メニューの表示内容一覧は「メニューボタンで設定できる機能の一覧」をご覧ください。(P113)

使用する外線を選んで電話をかける方法のほかに、押した電話番号を確認してからかける方法（プリセットダイヤル）、空いている外線を選んでかける方法（空き外線自動捕捉、電話回線グループ捕捉）、索線ボタン（☎ ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書）を使ってかける方法があります。

使用する外線を選んで電話をかける

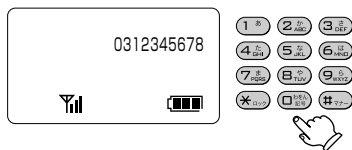
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



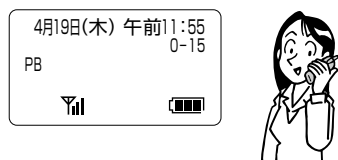
2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、☎電源 ボタンを押す。

ワンポイント

- ISDN回線 (INSネット64/1500) を利用して電話をかけるときは
ISDN回線が割り付けられている外線ボタンを押すと、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。
- VoIP回線を利用して電話をかけるときは
VoIP回線が割り付けられている外線ボタンを押すと、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。

お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話中です。外線ボタンを押しても電話をかけることはできません。
- 外線ボタンを押しても「ツー」という発信音が聞こえないときは、その外線ボタンは使用できません。
- PBX（構内交換機）などに収容されているときは、PBXの外線発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

- ▶ クイックモードが設定されているときは？ (☎P111)
- ▶ PBXなどに接続しているときは？ (☎P111)
- ▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は？ (☎P111)

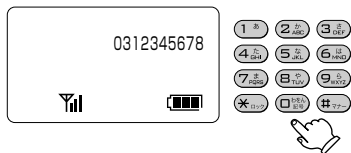


ワンポイント

- **フックボタンを押すだけで、空いている外線を選んで電話をかけるには**
主装置のデータ設定で「オフフック外線自動捕捉」を設定する必要があります。(データ設定：オフフック外線自動捕捉 ● ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書)
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（●P27）**
- **即時発信するときは**
INSネット64／1500回線およびIP電話サービスを利用して発信するときは、手順2のあとに続けて **（#）** ボタンを押すと、すぐに発信できます。**（#）** ボタンを押さない場合は、システム設定で設定された時間が経過すると自動的に発信します。
- **プッシュホンサービスを利用するには**
外線通話中、ディスプレイに「PB」と表示されないときはダイヤル回線です。**（#）** ボタンを押すと、ディスプレイに「PB」と表示され、プッシュホンサービスをご利用になります。
- **通話時間が一定時間を超えたときは（長時間通話警報）**
「システム設定」によって内線電話機ごとに長時間通話警報を設定すると、外へ電話をかけたときに、「システム設定」された通話時間が経過すると「ピピ」という警報音が鳴ります。ディスプレイには「チョウジカンケイホウ」と表示されます。その後、「システム設定」された時間ごとに警報音が鳴ります。
- **固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには**
「システム設定」により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。自動付与した事業者識別番号（「システム設定」により名称が登録されている場合は名称も）をディスプレイの1段目の左端から表示します。
ご利用はすべての携帯電話会社（着信側）に有効で、PHSへの通話は対象外です。また、一部ご利用にならない携帯電話番号があります。
一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号自動付与解除用の特番（**（029）** **（029）** **（029）** **（029）** []）を押します。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。
- **サブアドレスを追加して発信するときは**
INSネット64／1500回線をご利用の場合は、サブアドレスを使用することができます。手順2のあとに **（*）** ボタンを押し、続けてサブアドレスをダイヤルボタンで押してください。
- **緊急番号ダイヤルについて**
一部のIP電話サービスから緊急番号（「110」、「118」および「119」）へ発信を行ったときは、自動的にINSネット64回線または、一般加入電話回線から発信します。すべての外線が使用中の場合は、「プーブ…」という話中音が聞こえます。

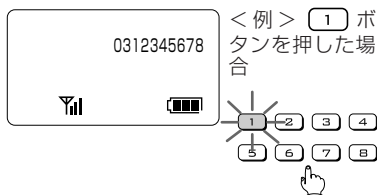
電話番号を確認してからかける
(プリセットダイヤル)

1 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。

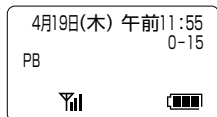


2 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



3 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、電源ボタンを押す。

ワンポイント

- 相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（P27）
- 電話番号の入力を間違えたときは
 (保留) ボタンを押すと、最後の桁から1桁ずつ削除されます。
 (クリア) ボタンを押すと、待ち受け状態に戻ります。
- ブッシュホンサービスを利用するには（P31）
- 通話時間が一定時間を超えたときは（長時間通話警報）（P31）
- 緊急番号ダイヤルについて（P31）
- 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れるには
 1～9秒のポーズを入れることができます。手順1で、ポーズを入れたいところでフックボタンを2秒間押し続けたあと、ポーズを入れたい秒数（1秒～9.9秒）を押します。

お知らせ

- プリセットダイヤルは、32桁までダイヤルできます。
- ダイヤル操作を途中でやめた場合、システム設定で設定された時間が経過すると液晶ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

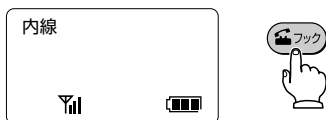
- 通話 ▶ クイックモードが設定されているときは？（P111）
- ▶ PBXなどに接続しているときは？（P111）
- 表示 ▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は？（P111）

空いている外線を選んで電話をかける（空き外線自動捕捉）

外線発信用の特番で、空いている外線を自動的に選びます。

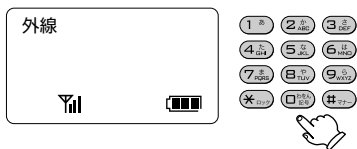
1 フック ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



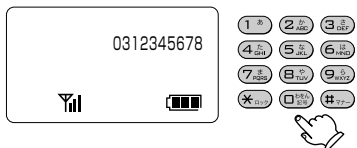
2 外線発信用の特番（ 外線発信用特番）を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
空いている外線の外線ランプが緑に点灯し、周期的に2回消えます。



3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

● 捕捉できる外線がないときは

手順2で「ブーブー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。しばらく待ってからかけ直してください。

お知らせ

● 手順1でフック ボタンを押すと、αGX typeL主装置のデータ設定により次のどちらかの状態になります。

（ ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書）

- 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる。（オフフック内線自動捕捉）
- 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる。（オフフック外線自動捕捉）

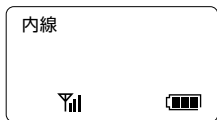
オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線発信用の特番（ 外線発信用特番）を押す必要はありません。

**空いている外線を選んで電話をかける
(自動発信可能な外線の中から選ぶ)**

外線群指定発信用の特番で、空いている外線を自動的に選びます。

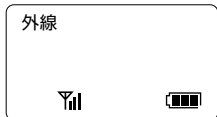
1  ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

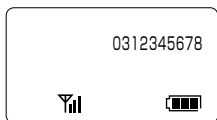


2 外線群指定発信用の特番 ([]) をダイヤルボタンで押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
対応する外線の外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



4 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。






ワンポイント

- 外線群とは
「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。外線群指定発信用の特番は、お買い求め時には設定されていません。



お知らせ

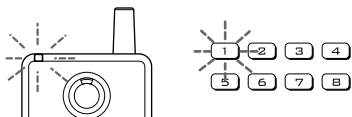
- 手順1で  ボタンを押すと、αGX typeL主装置のデータ設定により次のどちらかの状態になります。
(● ネットコミュニケーションシステム αGX typeL取扱説明書)
 - ・「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる。(オフフック内線自動捕捉)
 - ・「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる。(オフフック外線自動捕捉)
 オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、手順1で  ボタンではなく、 ボタンを押してください。
- 空いている外線がないときは、電話をかけられません。しばらく待つてからかけ直してください。
- 外線群指定発信用の特番については、ネットコミュニケーションシステム αGX typeL取扱説明書をご覧ください。

電話がかかってきたときは（外線着信）

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

着信音が鳴ったら・・・

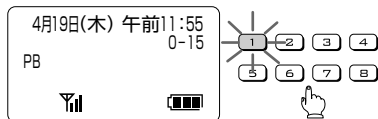
着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。



1 ランプが点滅している外線ボタン を押し、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

通話時間が表示されます。






2 お話が終わったら、 ボタン を押す。

ワンポイント

- 着信音の音量を変えるには（☛P28）
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P27）
- 着信音を変えるには（☛P88）
- 着信を振動で知らせるには（☛P90）
- マナーモードを設定するには（☛P92）
- 続けてかかってきた電話に応答するには
 ≪お話し中の相手の方に待っていただく場合は≫
 共通保留の操作を行い（☛P40）、着信している外線ボタン（ランプが赤く点滅）を押します。
 ≪お話しを終わらせて応答する場合は≫
 着信している外線ボタン（ランプが赤く点滅）を押します。このとき、それまでの通話は切れます。
- 一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答通知）
 「システム設定」によって内線電話機ごとに着信未応答通知を設定すると、「システム設定」した一定時間内に応答しなかったときに、着信先が他の内線電話機や音声メールに切り替わります。

ワンポイント

- 電話がかかってきたときに複数の電話機で着信音を鳴らすには（放送着信）
 「システム設定」によって、電話がかかってきたときに、同時に複数の電話機で着信音を鳴らすことができます。
-  ボタンを押すだけで応答するには
 αGX typeL主装置のデータ設定で「着信自動応答」を設定する必要があります。（データ設定：着信自動応答☛ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書）
 <「着信自動応答」を設定した場合に、相手先を選んで応答するには>
 複数の外線や内線に着信しているときに、相手先を選んで応答したい場合は、 ボタンではなく、外線ボタンや  ボタンを押してください。
- お話し中に内線電話機からの着信を知らせるには
 αGX typeL主装置のデータ設定で「話中着信」を設定する必要があります。（データ設定：話中着信☛ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書）
 外線または内線でお話し中に電話がかかってきたとき、受話口より話中着信音が鳴ります。
- 不在着信転送が設定されているとき、一定時間内に応答しなかったときは（不在着信転送）
 一定時間内に応答しなかったときは、着信先が他の電話機等に切り替わります。（☛P50）

（次ページにつづく）

電話がかかってきたときは（外線着信）



お知らせ

- 電源を切っていると着信しません。
- 外の相手の方とお話中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 他の人が先に応答したときは、「ブーブー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- ナンバー・ディスプレイを契約されている場合などは、着信時および通話中に相手の方の電話番号が表示されます。
（ナンバー・ディスプレイを契約されていない場合は、表示されないことがあります。）
 - ◀着信時表示例▶
 - ◀通話中表示例▶
- ナンバー・ディスプレイを契約されていない場合は、以下の着信時に相手の方の電話番号が表示されません。
 - 一般加入電話回線からINSネット64回線での着信時
 - 一般加入電話回線での着信時
- 以下の場合、着信した相手の方の名前がディスプレイに表示されます。
 - 相手の方の電話番号が表示されていて、個別電話帳、共通電話帳に登録されている場合
 - ネーム・ディスプレイを契約していて、相手の方の発信企業名（氏名）が登録されている場合
表示の優先順位は、「個別電話帳」、「共通電話帳」、「ネーム・ディスプレイ」です。
- アドレス帳に登録されていても表示されません。
- 外線着信中に（）ボタンを押すと一時的に着信音を停止することができます。

また、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、下記も表示されます（ナンバー・ディスプレイを契約されていない場合は、表示されません）。

ディスプレイの表示	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。 IP電話サービスでは、「非通知」と表示されます。
非通知	かけてきた相手の方が、番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。 IP電話サービスでは、「非通知」と表示されます。



▶ クイックモードが設定されているときは？
（☎P111）



▶ 液晶ディスプレイに表示される通話時間は？
（☎P111）

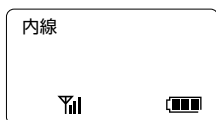
別の電話機で応答するには（代理応答）

着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりにIPコードレス電話機で応答することができます。

同一電話機グループ内の着信に 応答する

- 1** 同一電話機グループ内の電話機で着信音が鳴ったとき、**内線** ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

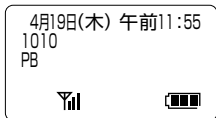


- 2** 自グループ代理応答用の特番（**マナー** **わん** 記号）**[#0]** を押す。



- 3** お話する。

<例>内線からの着信に代理応答した場合



- 4** お話が終わったら、**電源** ボタンを押す。



別の電話機で応答するには
電話がかかってきたときは



ワンポイント

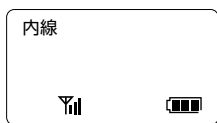
- 代理応答ができないようにするには
「システム設定」により、代理応答ができないようにすることができます。
- 代理応答の対象となる着信を指定するには
「システム設定」により、代理応答の対象となる着信を「内線／外線優先指定なし」、「外線優先」、「内線優先」、「外線のみ応答可」、「内線のみ応答可」のいずれかに指定することができます。

別の電話機で応答するには（代理応答）

他のグループの着信に応答する

- 1 他のグループの電話機で着信音が鳴ったとき、**内線** ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 他グループ代理応答用の特番（**#マナー** **1** あ []）を押す。

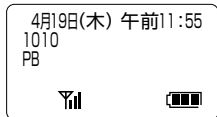


- 3 応答するグループの番号（**1** あ ~ **9** wxyz）を押す。



- 4 お話する。

<例>内線からの着信に代理応答した場合



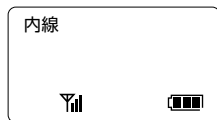
- 5 お話が終わったら、**電源** ボタンを押す。



ドアホン、同一電話機グループ内および他電話機グループ内の着信に応答する

- 1 ドアホン、同一電話機グループ内および他電話機グループ内の電話機で着信音が鳴ったとき、**内線** ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

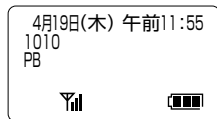


- 2 統合代理応答用の特番（**#マナー** []）を押す。



- 3 お話する。

<例>内線からの着信に代理応答した場合



- 4 お話が終わったら、**電源** ボタンを押す。



着信中の電話機を指定して 応答する

1 他の電話機で着信音が鳴ったとき、**内線** ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。

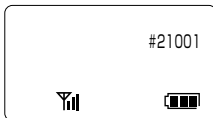
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 指定代理応答用の特番（**#マナー**）
2 [] を押す。

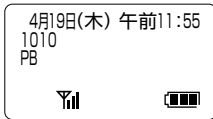


3 着信中の電話機の内線番号を押します。



4 お話する。

<例>内線からの着信に代理応答した場合



5 お話が終わったら、**電源** ボタンを押す。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。相手の方へは保留メロディが流れます。

保留には、下記の3通りがあります。

- ・ 共通保留 保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。
- ・ 個別保留 保留にしたあと、他の内線電話機では電話に出られません。
- ・ パーク保留 同じパーク保留ボタンを設定した内線電話機で電話に出ることができます。

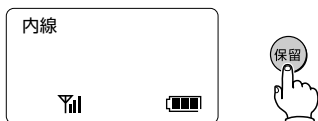
普通に保留する（共通保留）

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



1 保留ボタンを押す。

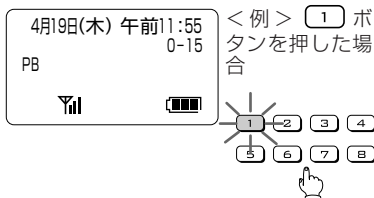
相手の方には保留メロディが流れます。外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



2 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

通話時間が表示されます。



3 相手の方とお話する。



ワンポイント

- 他の電話機で保留を解除するには（共通転送）
保留にしている外線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。（☛P43）
- 保留したままにしておく（長時間保留警報）
保留にした電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。

お知らせ

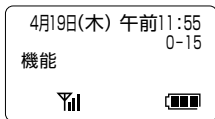
- 外線ボタンに登録されている外線を保留にしたときは、個別保留となります。（☛P41）

他の電話機で取れないように保留する (個別保留)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



1 決定ボタンを2秒以上押す。



2 保留 ボタンを押し、電源 ボタンを押す。

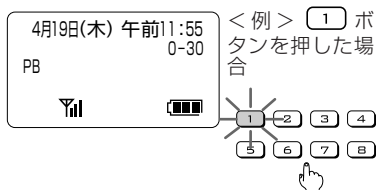
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



3 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

通話時間が表示されます。



相手の方に待っていただくには（保留）

同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように保留する（パーク保留）

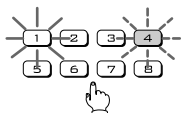
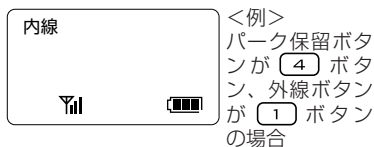
お話し中に「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。
同じパーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線／外線に応答することができます。

<例>外の相手の方とお話し中のとき
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝ええます。



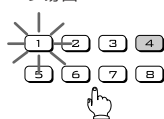
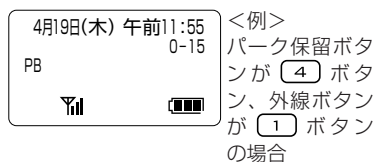
1 パーク保留ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
パーク保留ランプが周期的に緑で2回点灯します。
外線ランプが赤で点灯します。



2 お話しに戻るときは、保留しているパーク保留ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。



●パーク保留ボタンは、αGX typeL主装置の設定により外線ボタンに設定できます。

電話を取りつぐには

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

電話を取りつぐ（保留応答）

保留にしている外線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。

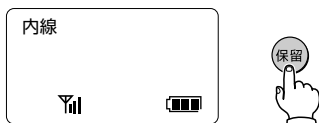
呼び出す方

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



1 保留ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 外線ボタンの番号を、取りつぐ相手の方に口頭で伝える。



呼び出される方

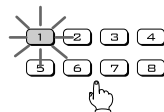


1 保留中の外線ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ボタンが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例> 1 ボタンを押した場合



ワンポイント

- 「呼び出される方」が応答できないときは
 - ・他の内線電話機で、保留にしている外線ボタンを押して応答できます。
 - ・「呼び出す方」が保留にしている外線ボタンを押すと、相手の方とのお話しに戻ることができます。
- 同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように転送するには（パーク保留）

「呼び出す方」の手順1で、保留ボタンの代わりにパーク保留ボタンを押します。応答するときは、「呼び出す方」の手順1と同じ番号のパーク保留ボタンを押します。

2 電話をかける／
受ける
電話を取りつぐには
相手の方に待っていただくには

電話を取りつぐには

電話を取りつぐ（共通保留転送）

特定の電話機を呼び出して転送します。

呼び出す方

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



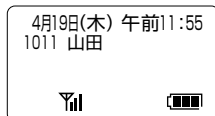
1 保留 ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。

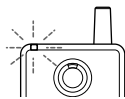


3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、電源 ボタンを押す。

呼び出される方

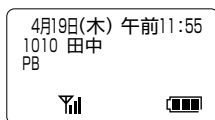


呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが赤で点滅します。



1 フック ボタンを押す。




内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出した方が電源 ボタンを押すと電話につながり、相手の方とお話することができます。



ワンポイント

- **外線を使って転送するには**
手順2で外線ボタンを押し、手順3で呼び出す電話機の電話番号をダイヤルボタンで押します。
ただし、お買い求め時は外線を使った転送はできないように設定されています。
- **個別保留した電話を転送するには（個別転送）**
手順1で決定ボタンを2秒以上押した後、 ボタンを押します。
- **呼び出された方の応答を待たずに転送するには（呼出状態転送）**
手順2で内線番号をダイヤルボタンで押したあと、呼び出された方が応答する前に、決定ボタンまたは  ボタンを押します。ただし、転送先の内線電話機が、内線でお話中などで呼び出しできないときは転送されません。保留のままとなりますのでご注意ください。
- **相手の方のお話しに戻るには**
呼び出された方が応答しなかったときは、保留にしている外線ボタンを押すと相手の方のお話しに戻ることができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（☛P37）
- **保留したままにしておく（長時間保留警報）**
保留にした電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。
- **自動的に特定の内線電話機に転送するには（自動転送）**
外線でお話中に、内線ホットライン（☛ネットコミュニケーションシステム αGX typeL取扱説明書）に設定したフレキシブルボタンを押すと、相手の方には保留メロディが流れ、内線ホットラインに設定されている特定の内線電話機に転送することができます。
- **内線の呼び出し方法を変えるには**
内線の呼び出し方法は、αGX typeL主装置の設定により信号音、音声のどちらかにすることができます。
内線で呼び出し中に、信号／音声呼出切替用の番号（）を押すと、呼び出し方法を切り替えることができます。お買い求め時は、信号音に設定されています。
- **内線の呼び出し方法が音声呼出に設定されているときの応答方法は**
「呼び出される方」の手順1と同様の操作で応答してください。



お知らせ

- 素線ボタンに登録されている外線の場合は、パーク保留（☛P42）を使用して転送してください。
- 「呼び出す方」の手順2のあと、「ブーピー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。
- 保留転送の操作を行っても、転送できない場合があります。

内線でお話しするには (内線通話)

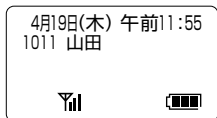
他の内線電話機を、内線番号で呼び出してお話しします。

呼び出す方

- 1** (内線) ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2** 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。
呼出音が聞こえます。



- 3** 呼び出された方が応答したら、お話しする。

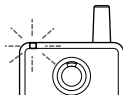


- 4** お話が終わったら、(電源) ボタンを押す。

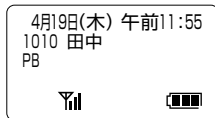


呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが赤で点滅します。



- 1** (フック) ボタンを押し、相手の方とお話しする。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。





ワンポイント

- 別の電話機で応答するには（代理応答）
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（▶P37）



お知らせ

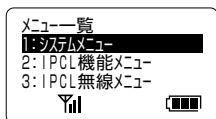
- 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。

ワンタッチボタンで電話をかけるには

よくかける相手の電話番号をワンタッチボタンに登録しておく、簡単に電話をかけることができます。

ワンタッチボタンに登録する

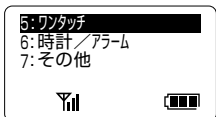
1 ㊦ ボタンを押す。



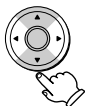
2 「システムメニュー」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



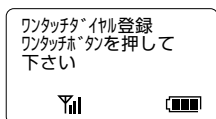
3 「電話機毎設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



4 上下ボタンで「ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押す。



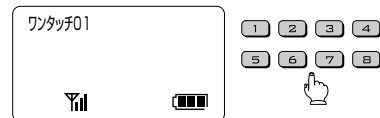
5 決定ボタンを押す。



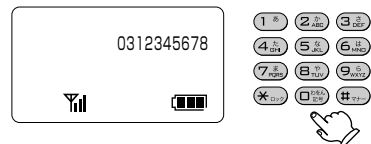
6 登録したいワンタッチボタンを押す。

すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

<例> ㊦ ボタンを押した場合



7 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

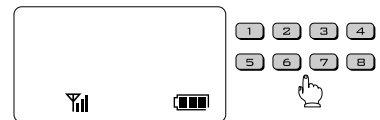


8 手順6で押したワンタッチボタンを押す。

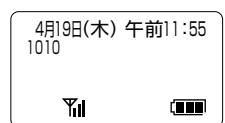
「ピーピー」という確認音が受話口から聞こえます。

ワンタッチボタンが登録されます。

続けて登録するときは、手順6から繰り返します。



9 ㊦ ボタンを押す。



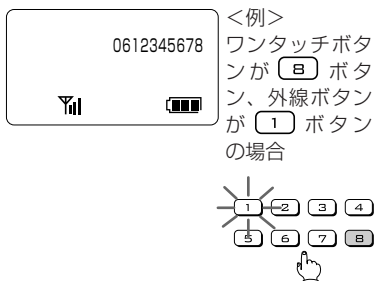
お知らせ

●32桁を超えて入力した電話番号は登録されません。

ワンタッチボタンで電話をかける

1 外線ボタンを押し、ワンタッチボタンを押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



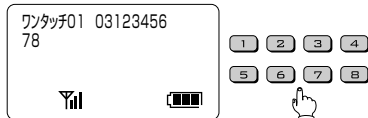
2 相手の方が出たら、お話しする。 通話時間が表示されます。

ワンタッチボタンの登録内容を確認する

1 待ち受け状態で、決定ボタンを2秒以上押す。



2 ワンタッチボタンを押す。 登録されている内容が表示されます。



ワンポイント

- ワンタッチボタンとして登録できるボタンは
 - ・外線ボタン（最大8個）
 - ・1～9のダイヤルボタンを2秒以上押す
- 「ワンタッチボタンに登録する」の手順6と手順7でワンタッチボタンの選択、電話番号の入力を間違えたときは
 - 保留** ボタンを2回押すと、最後に入力した1文字を削除できます。
 - クリア** ボタンを2回押すと、すべて消去できます。
- 登録した番号を変更するには
最初から登録し直してください。
- 登録できるボタン操作は
ワンタッチボタンには、次のボタン操作が登録できません。
 - ・ダイヤルボタン
 - ・**内線** ボタン、外線ボタン
※外線ボタンは1操作のみ有効です。
 - ・発信履歴ボタン
 - ・**保留** ボタン
 - ・決定ボタン
- フック** キーを登録するには
○**フック** キーを2秒以上押ししてください。
- 1秒～9秒のポーズを入力するには
○**保留** ボタンを2秒以上押し、ポーズに対応する秒数のダイヤルボタンを押します。
- 空いている外線を自動的に選ぶには
外線ボタンの代わりに、**内線** ボタン、外線発信番号（**0**）の順に押します。
- ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）
ワンタッチボタンを押したあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

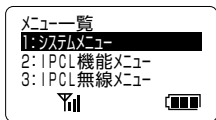
不在のときに電話がかかってきたときは (不在着信転送)

離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。個別着信だけを転送するか、放送着信と個別着信の両方を転送するかを選ぶことができます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を設定する

<例>個別／放送の両方の着信を転送する場合

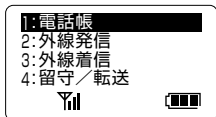
1 電源ボタンを押す。



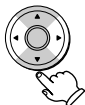
2 「システムメニュー」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



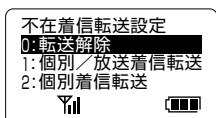
3 「電話機毎設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



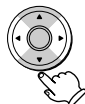
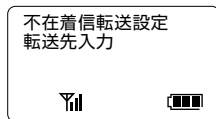
4 上下ボタンで「留守／転送」を選択し、決定ボタンを押す。



5 「不在着信転送設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



6 上下ボタンで「個別／放送着信転送」または「個別着信転送」を選択し、決定ボタンを押す。



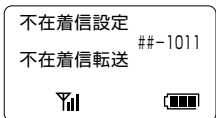
7 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す。



8 決定ボタンを押す。

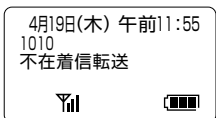
「ピーピー」という確認音が受話口から聞こえます。

不在着信転送が登録されます。



手順6で「個別／放送着信転送」を選択したときは内線番号の前に「##-」が、「個別着信転送」を選択したときは「* * -」が表示されます。

9 電源ボタンを押す。





ワンポイント

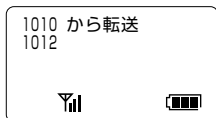
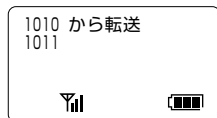
●不在時の表示について

不在着信転送で着信したとき、呼び出した方と転送先の電話機に、内線番号が同時に表示されます。

例として、呼び出した方の内線番号を1012、呼び出し先の内線番号を1010、転送先の内線番号を1011とした場合は下記のように表示されます。

<呼び出した方の表示>

<転送先の表示>



●特番操作で登録するには

- ①内線ボタンを押す
 - ②決定ボタンを押す
 - ③不在着信転送用の特番（**4** **2** []）を押す
 - ④ **#** **#**（個別と放送着信を転送）または ***** *****（個別着信のみ転送）を押す
 - ⑤転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す
 - ⑥決定ボタンを押す
 - ⑦ **電話** ボタンを押す
- 手順②～③の代わりに不在着信転送用の特番（**9** **2** **2** []）を押すこともできます。

●不在着信転送の対象となる放送着信とは

「システム設定」された放送着信のみ、不在着信転送の対象となります。

●不在着信転送が登録されている電話機で応答するには

転送前に転送元で応答するために「システム設定」された時間の間、転送元に着信させることができます。

●代表着信があったときは

不在着信転送が登録されている電話機には着信しません。

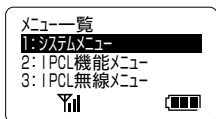


お知らせ

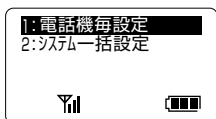
- 転送先で不在着信転送の登録が行われていても、その先への転送はされません（転送は1度まで）。
- 複数の電話機から、同じ電話機に不在着信転送を登録することができます。
- 転送元、転送先の関係にある電話機は、逆の設定はできません。
- 放送着信を不在着信転送に設定すると、転送元・転送先両方の電話機の着信音が鳴るようになります。

不在着信転送を解除する

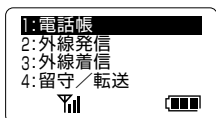
1 ボタンを押す。



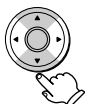
2 「システムメニュー」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



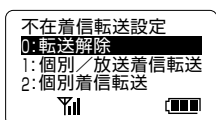
3 「電話機毎設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



4 上下ボタンで「留守／転送」を選択し、決定ボタンを押す。



5 「不在着信転送設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



6 「転送解除」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。不在着信転送が解除されます。



7 ボタンを押す。



ワンポイント

●特番操作で登録するには

- ①内線ボタンを押す
 - ②決定ボタンを押す
 - ③不在着信転送用の特番 ([]) を押す
 - ④決定ボタンを押す
 - ⑤ ボタンを押す
- 手順②～③の代わりに不在着信転送用の特番 ([]) を押すこともできます。

お知らせ

- 「特番操作で登録するには」の手順①で、プリセレクトジョンスービスが利用されている場合は、内線ボタンに続いて ボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

システム電話帳とアドレス帳

IPコードレス電話機には、よく電話をかける相手に対し、より簡単に電話がかけられるように、システム電話帳とアドレス帳が用意されています。さらにシステム電話帳には、すべてのIPコードレス電話機とIP多機能電話機で共通に持つ共通電話帳と、電話機ごとに持つ個別電話帳があります。

共通電話帳

共通電話帳は、すべてのIPコードレス電話機で利用できる電話帳で、メモリ番号000～799に割り当てられ、800件まで登録できます。ただし、共通電話帳の登録は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。

電話帳を検索して、登録されている電話番号に発信できます。

検索方法には、次の3種類があります。

- ・メモリ番号
- ・フリガナ
- ・電話帳グループ

また、次の項目が登録できます。

- ・名称（全角10文字／半角20文字まで）
- ・フリガナ（半角12文字まで）
- ・電話番号（32桁まで）
- ・グループ（9種類のグループ、または「グループなし」に分類できる）
- ・アイコン（9種類のアイコン、または「アイコンなし」に分類できる）
- ・メモリ番号（000～799）

個別電話帳

個別電話帳は、個別のIPコードレス電話機で利用できる電話帳で、メモリ番号800～999に割り当てられ、電話機ごとに200件（システム設定によっては100件）まで登録できます。

電話帳を検索して、登録されている電話番号に発信できます。

検索方法には、次の3種類があります。

- ・メモリ番号
- ・フリガナ
- ・電話帳グループ

また、次の項目が登録できます。

- ・名称（全角10文字／半角20文字まで）
- ・フリガナ（半角12文字まで）
- ・電話番号（32桁まで）
- ・グループ（9種類のグループ、または「グループなし」に分類できる）
- ・アイコン（9種類のアイコン、または「アイコンなし」に分類できる）
- ・メモリ番号（800～999）



ワンポイント

- 文字を入力するには（☞P55）
- 電話帳に登録するには（☞P66）
- メモリ番号で検索して電話をかけるには（☞P61）
- フリガナで検索して電話をかけるには（☞P62）
- 電話帳グループで検索して電話をかけるには（☞P64）
- 電話帳を修正するには（☞P68）
- 電話帳を削除するには（☞P70）



ワンポイント

- 文字を入力するには（☞P55）
- 電話帳に登録するには（☞P66）
- メモリ番号で検索して電話をかけるには（☞P61）
- フリガナで検索して電話をかけるには（☞P62）
- 電話帳グループで検索して電話をかけるには（☞P64）
- 電話帳を修正するには（☞P68）
- 電話帳を削除するには（☞P70）

アドレス帳

アドレス帳は、IPコードレス電話機が独自に管理する電話帳の一種で、メモリ番号000～499に割り当てられ、電話機ごとに500件まで登録できます。

アドレス帳を検索して、登録されている電話番号に発信したり、eメールを送信したりできます。

検索方法には、次の2種類があります。

- ・メモリ番号
- ・読み仮名（行検索）

また、次の項目が登録できます。

- ・名前（全角10文字／半角20文字まで）
- ・読み仮名（半角20文字まで）
- ・電話番号（32桁まで）
- ・電子メールアドレス（半角英数64文字まで）
- ・メモリ番号（000～499）



ワンポイント

- 文字を入力するには（☛P58）
- アドレス帳に登録するには（☛P82）
- メモリ番号で検索して電話をかけるには（☛P80）
- 読み仮名で検索して電話をかけるには（☛P81）
- アドレス帳を修正するには（☛P84）
- アドレス帳を削除するには（☛P86）
- アドレス帳で宛先を入力するには（☛P100）

文字を入力するには（システム電話帳）

文字の入力方法は、電話帳関連とアドレス帳やeメール関連の場合では、一部入力方法が異なります。ここでは、電話帳関連の文字入力について説明しています。なお、アドレス帳やeメール関連の文字入力については、「文字を入力するには（アドレス帳/eメール）」（P58～P60）を参照してください。

電話帳関連の文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」を入力することができます。☎ ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

漢字・かなモード

漢字およびひらがなを入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「佐藤」と入力する場合

1 ☎ ボタンを押して入力モードを選択する。

[かな] を選択します。最初は漢字・かなモードになっています。☎ ボタンを押すことに、「かな」→「か」→「ABC」→「123」の順に切り替わります。

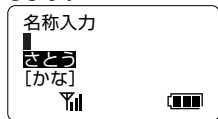


漢字・かなモード



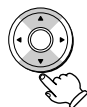
2 3 DEF ボタンを1回、4 GH ボタンを5回、1 ぁ ボタンを3回押す。

漢字に変換しない場合は決定ボタンを押します。



3 上下ボタンで文字を変換する。

入力したい文字に変換できない場合は、左右ボタンで変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読みかたを変えて（音読み/訓読み）入力し直してください。



4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。



ワンポイント

●濁点・半濁点・小文字を入力するには（P57）

文字を入力するには（システム電話帳）

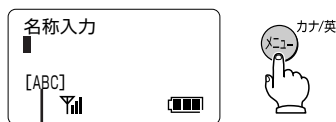
カナモード／英字モード

半角のカタカナ、英字および記号を入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「NTT」と入力する場合

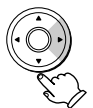
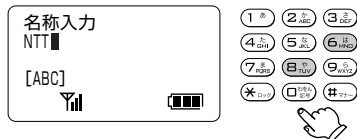
- 1 (X) ボタンを押して入力モードを選択する。

[か]（半角カタカナ）、[ABC]（半角英字・記号）から選択します。



英字モード

- 2 (は) ボタンを2回、(や) ボタンを1回、右ボタンを1回、(や) ボタンを1回押す。



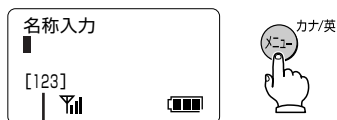
数字モード

半角の数字を入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「123」と入力する場合

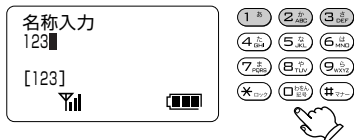
- 1 (X) ボタンを押して入力モードを選択する。

[123] を選択します。



数字モード

- 2 (1) (2) (3) の順に押す。



●漢字変換では、半角文字の入力はできません。



ワンポイント

●アドレス帳、メール関連で使用するときは

画面右上に、「(漢)」、「(か)」、「(A)」、「(A)」、「(a)」、「(a)」、「(9)」、「(9)」が表示されているときは、アドレス帳やメール関連の文字入力モードです。「文字を入力するには(アドレス帳/eメール)」を参照してください。(P58)

●文字と機能の割り当て一覧表

漢字/カタカナ/英字/数字の各入力モードでのボタンと機能は下表のとおりです。☺ ボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。文字入力は、入力する文字が表示されるまでダイヤルボタンを繰り返し押してください。文字の組み合わせによっては表示されない文字があります。

ボタン	漢字・かなモード	カナモード	英字モード	数字モード
①	あいうえお あいうえお	アイウオ アイウオ	無効	1
②	かきくけこ	カキクコ	ABCabc	2
③	さしすせそ	サシセソ	DEFdef	3
④	たちつてとっ	チツテツ	GHIghi	4
⑤	なにぬねの	ナニネノ	JKLjkl	5
⑥	はひふへほ	ヒフホ	MNOmno	6
⑦	まみむめも	ミムモ	PQRSpqrs	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤヨヤヨ	TUVtuv	8
⑨	らりるれる	リルロ	WXYZwxyz	9
⑩	わをんー	ワヅ * * -	. @ _ () -	0
*	濁点、半濁点付与	無効		*
#	無効			#
(右ボタン)	カーソルを右に移動	カーソルを右に移動 (未決定文字は決定)		カーソルを右に移動
(左ボタン)	カーソルを左に移動	カーソルを左に移動 (未決定文字は決定)		カーソルを左に移動
(上ボタン) (下ボタン)	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	-		-
決定ボタン	選択された漢字変換候補を決定	決定		-
(クリア)	短く押したとき : 1文字消去 2秒以上押したとき : すべての文字消去			

●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには
右ボタンを押して、カーソルを移動させてください。

●文字を修正するには
左右ボタンでカーソルを修正したい文字へ移動し、再度入力してください。

文字を入力するには (アドレス帳/eメール)

文字の入力方法は、電話帳関連とアドレス帳やeメール関連の場合では、一部入力方法が異なります。ここでは、アドレス帳やeメール関連の文字入力について説明しています。なお、電話帳関連の文字入力については、「文字を入力するには(システム電話帳)」(P55~P57)を参照してください。

アドレス帳やeメール作成の文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「記号」を入力することができます。(X) ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

漢字モード

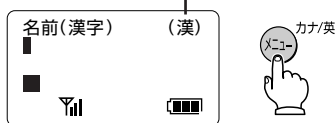
漢字、ひらがなおよび記号を入力することができます。

<例>アドレス帳の名前入力画面に「佐藤」と入力する場合

1 (X) ボタンを押して入力モードを選択する。

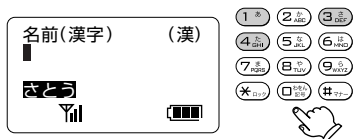
(漢) を選択します。

漢字モード



2 (3 DEF) ボタンを1回、(4 GH) ボタンを5回、(1 あ) ボタンを3回押す。

漢字に変換しない場合は決定ボタンを押します。



3 上下ボタンで文字を変換する。

入力したい文字に変換できない場合は、左右ボタンで変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読みかたを変えて(音読み/訓読み)入力し直してください。



4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。



●濁点・半濁点・小文字を入力するには (P60)

カタカナモード／英字モード

カタカナ、英字および記号を入力することができます。

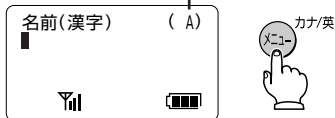
<例>アドレス帳の名前入力画面に「NTT」と入力する場合

1

カタカナ/英字ボタンを押して入力モードを選択する。

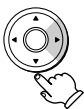
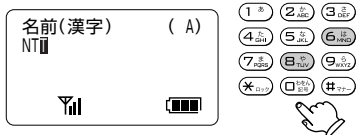
(か) (半角カタカナ)、(A) (大文字全角)、(A) (大文字半角)、(a) (小文字全角)または(a) (小文字半角)から選択します。

英字モード



2

6 (は MND) ボタンを2回、8 (や TUV) ボタンを1回、右ボタンを1回、8 (や TUV) ボタンを1回押す。



数字モード

数字を入力することができます。

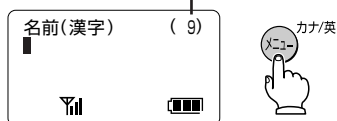
<例>アドレス帳の名前入力画面に「123」と入力する場合

1

カタカナ/英字ボタンを押して入力モードを選択する。

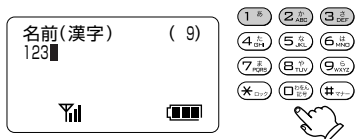
(9) (全角) または (9) (半角) から選択します。

数字モード



2

1 あ 2 か ABC 3 さ DEF の順に押す。



お知らせ

- 漢字変換では、半角文字の入力はできません。
- 改行は、eメール本文で使用できます。
- 記号の↵(改行)、数字モードの*、#はメール機能で有効です。

文字を入力するには (アドレス帳/eメール)



ワンポイント

● 共通電話帳、個別電話帳に登録するときは

画面左下に、「[かな]」、「[かか]」、「[ABC]」、「[123]」が表示されているときは、電話帳関連の文字入力モードです。「文字を入力するには(システム電話帳)」を参照してください。(●P55)

● 文字と機能の割り当て一覧表

漢字/カタカナ/英字/数字の各入力モードでのボタンと機能は下表のとおりです。(A) ボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。文字入力は、入力する文字が表示されるまでダイヤルボタンを繰り返し押してください。

ボタン	漢字モード	カタカナモード	英字モード				数字モード		
			大文字全角	小文字全角	大文字半角	小文字半角	全角	半角	
(1) あ	あいうえお あいうえお	アイイオ アイイ	無効	無効	無効	無効	1	1	
(2) か	かきくけこ	かクコ	ABCabc	abcABC	ABCabc	abcABC	2	2	
(3) さ	さしすせそ	サスセ	DEFdef	defDEF	DEFdef	defDEF	3	3	
(4) た	たちつとつ	タツツ	GHIghi	ghiGHI	GHIghi	ghiGHI	4	4	
(5) な	なにぬねの	ナニネノ	JKLjkl	jklJKL	JKLjkl	jklJKL	5	5	
(6) は	はひふへほ	ヒフホ	MNOmno	mnoMNO	MNOmno	mnoMNO	6	6	
(7) ま	まみむめも	マミメ	PQRSpars	parsPQRS	PQRSpars	parsPQRS	7	7	
(8) や	やゆよやゆよ	ヤヨヤヨ	TUVtuv	tuvTUV	TUVtuv	tuvTUV	8	8	
(9) ら	らりるれろ	リルロ	WXYZwxyz	wxyzWXYZ	WXYZwxyz	wxyzWXYZ	9	9	
(0) わ	わをんー、。！？ @_()* * # SP(スペース) ↓ (改行)	ワワンー @ _()* * # SP(スペース)	ー、。！？@_()* * # SP(スペース) ↓ (改行)	ー、。！？@_()* * # SP(スペース)	ー、。！？@_()* * # SP(スペース)	ー、。！？@_()* * # SP(スペース)	0	0	
(*)	濁点、半濁点付与	・ °	無効	無効	無効	無効	*	*	
(#)	無効	無効	無効	無効	無効	無効	#	#	
(>)	(右ボタン)	カーソルを右に							
(<)	(左ボタン)	カーソルを左に							
(△)	(上ボタン)	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	-					-	
(▽)	(下ボタン)		-					-	
	決定ボタン	選択された漢字変換候補を決定	決定					-	
(クリア)		1文字削除							

● 続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには

右ボタンを押して、カーソルを移動させてください。

● 文字を修正するには

左右ボタンでカーソルを修正したい文字へ移動し、再度入力してください。

電話帳ダイヤルでかけるには

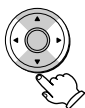
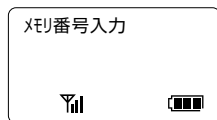
メモリ番号で検索してかける

共通電話帳および個別電話帳の中からメモリ番号で目的の電話帳を検索する方法です。

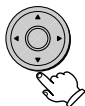
1 待ち受け状態で、 ボタンを押す。



2 上下ボタンで「短縮」を選択し、決定ボタンを押す。

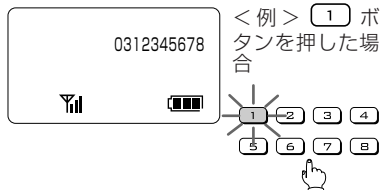


3 目的の電話帳のメモリ番号をダイヤルボタンを押す。上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



4 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

5 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- メモリ番号を表示させたあと前後の電話帳を表示させるには
手順3でメモリ番号を指定して表示したあと、上下左右ボタンで電話帳をスクロールすることができます。
- 指定できるメモリ番号は
000～799のメモリ番号を入力すると、共通電話帳に登録されている電話帳を表示します。
800～999（システム設定によっては800～899）のメモリ番号を入力すると、個別電話帳に登録されている電話帳を表示します。
- 電話をかける前に登録内容を確認するには
手順3のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順4～5の操作が行えます。
- 電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）
電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

お知らせ

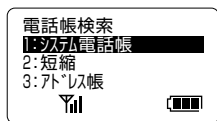
- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、ネットコミュニティシステムαGX typeL取扱説明書をご覧ください。

電話帳ダイヤルでかけるには

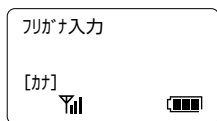
フリガナで検索してかける

共通電話帳および個別電話帳の中からフリガナで目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、 ボタンを押す。

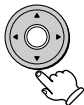
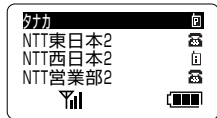


2 「システム電話帳」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



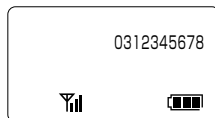
3 目的の電話帳のフリガナを入力し、上下左右ボタンで電話帳を選択する。


左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

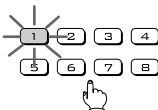


4 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例>  ボタンを押した場合



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

5 相手の方が出たら、お話しする。







ワンポイント

●文字を入力するには (P55)

●共通電話帳のみをフリガナで検索するには

- ① 待ち受け状態で、 ボタンを押す。
- ② 「システム電話帳」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- ③ 左ボタンを押す。
- ④ 上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す。
- ⑤ 上下ボタンで「共通電話帳」を選択し、決定ボタンを押す。
- ⑥ 目的の電話帳のフリガナを入力し、上下左右ボタンで電話帳を選択する。
- ⑦ 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
- ⑧ 相手の方が出たら、お話しする。

●個別電話帳のみをフリガナで検索するには

- ① 待ち受け状態で、 ボタンを押す。
- ② 「システム電話帳」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- ③ 左ボタンを押す。
- ④ 上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す。
- ⑤ 上下ボタンで「個別電話帳」を選択し、決定ボタンを押す。
- ⑥ 目的の電話帳のフリガナを入力し、上下左右ボタンで電話帳を選択する。
- ⑦ 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
- ⑧ 相手の方が出たら、お話しする。

●電話帳一覧に表示される順序

フリガナ検索をして表示される順序は、次のとおりです。

- ① カタカナ (アイウエオ順)
- ② 英字 (abcd順)
- ③ 数字 (0123456789、「記号」順)

●電話をかける前に登録内容を確認するには

手順3のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順4～5の操作が行えます。

●電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには (追加ダイヤル)

電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。



お知らせ

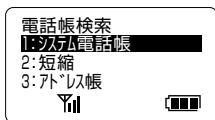
- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることも出来ます。詳しくは、ネットコミュニティシステムαGX typeL取扱説明書をご覧ください。
- お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。詳しくは、ネットコミュニティシステムαGX typeL取扱説明書をご覧ください。
- 手順2の画面で左ボタンを押すと、検索方法の選択画面を表示することができます。

電話帳ダイヤルでかけるには

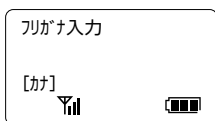
電話帳グループの電話番号を検索してかける

共通電話帳、個別電話帳それぞれからグループ番号で目的の電話帳を検索する方法です。

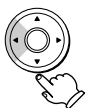
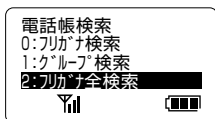
1 待ち受け状態で、**☎** ボタンを押す。



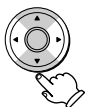
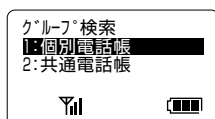
2 「システム電話帳」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



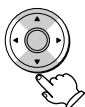
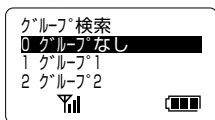
3 左ボタンを押す。



4 上下ボタンで「グループ検索」を選択し、決定ボタンを押す。

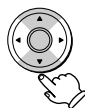
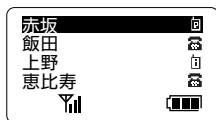


5 上下ボタンで「共通電話帳」または「個別電話帳」を選択し、決定ボタンを押す。

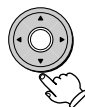
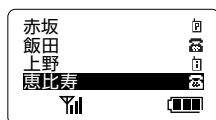


6 上下ボタンで目的のグループを選択し、決定ボタンを押す。

選択したグループ内の電話帳が表示されます。

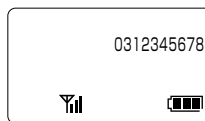


7 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。

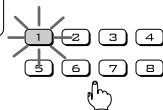


8 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例> **1** ボタンを押した場合



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

9 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- **電話帳一覧に表示される順序**
グループ検索をして表示される順序は、次のとおりです。
 - ① カタカナ（アイウエオ順）
 - ② 英字（abc順）
 - ③ 数字（0123456789、「記号」順）
- **電話をかける前に登録内容を確認するには**
手順7のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順8～9の操作が行えます。
- **電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）**
電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。



お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることも出来ます。詳しくは、ネットコミュニティシステムαGX typeL取扱説明書をご覧ください。
- お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。詳しくは、ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書をご覧ください。

電話帳に登録するには (電話帳ダイヤル)

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておく、電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

共通電話帳の登録はシステムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機で、個別電話帳の登録は個別のIPコードレス電話機で行います。

電話帳に登録する

個別電話帳は200件まで登録できます。(システム設定によっては100件)

電話帳1件につき、下記の内容を登録できます。

<文字を入力するには> (●P55)

- ・ 名称 (全角10文字/半角20文字まで)
- ・ フリガナ (半角12文字まで)
- ・ 電話番号 (32桁まで)
- ・ グループ (9種類のグループ、または「グループなし」に分類できる)
- ・ アイコン (9種類のアイコン、または「アイコンなし」に分類できる)
- ・ メモリ番号 (000~799: 共通電話帳、800~999: 個別電話帳)

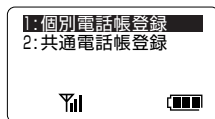
<例> 個別電話帳に登録する場合

1 待ち受け状態で、 ボタンを2秒以上押す。

「電話帳登録」画面が表示されます。



2 「システム電話帳」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



3 「個別電話帳登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

「名称入力」画面が表示されます。

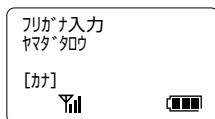


4 登録する相手の名称を入力する。



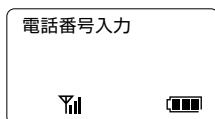
5 決定ボタンを押す。

「フリガナ入力」画面が表示されます。フリガナは名称入力時に入力された12文字までがそのまま表示されます。



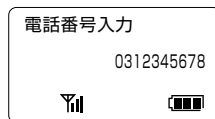
6 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。

「電話番号入力」画面が表示されます。



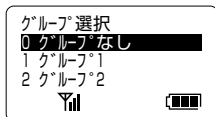
7 登録する相手の電話番号を入力する。

ダイヤル (0~9、*、#) およびポーズを登録できます。

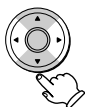


8 決定ボタンを押す。

「グループ選択」画面が表示されます。

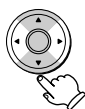
**9** 上下ボタンでグループを選択し、決定ボタンを押す。

「アイコン選択」画面が表示されます。

**10** 上下ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

「メモリ番号」画面が表示されます。

空いている一番若いメモリ番号が表示されますので、そのままいい場合は決定ボタンを押します。

**11** 登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

登録したメッセージを表示後、待ち受け状態に戻ります。

**ワンポイント**

- 文字を入力するには (☛P55)
- 電話帳を修正するには (☛P68)
- 電話帳グループの名前をつけるには (☛P71)

**お知らせ**

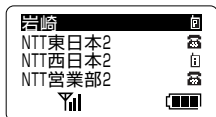
- フリガナには、半角の「カタカナ」、「英字」、「数字」、「記号」が入力できます。
- 手順9や手順10でダイヤルボタンを押しても、グループまたはアイコンが選択できます。

電話帳を修正するには

個別電話帳、共通電話帳に登録された電話帳を修正することができます。

<例> 個別電話帳を修正する場合

1 修正する個別電話帳を検索する。

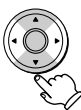


2 ボタンを押す。




3 上下ボタンで「修正」を選択し、決定ボタンを押す。

「名称入力」画面が表示されます。
名称を修正しない場合は、手順5へ進みます。



4 名称を修正する。

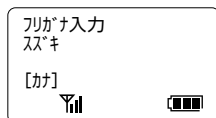
 ボタンを押し、名称を削除して修正してください。

<例> 「岩崎」を「鈴木」に修正する場合



5 決定ボタンを押す。

フリガナを修正しない場合は、決定ボタンを押して手順7へ進みます。



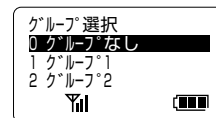
6 フリガナを修正し、決定ボタンを押す。



電話番号を修正しない場合は、決定ボタンを押し、手順8へ進みます。

7 電話番号を修正し、決定ボタンを押す。

「グループ選択」画面へ進みます。
グループを変更しない場合は、決定ボタンを押して手順9へ進みます。



8 上下ボタンでグループを選択し、決定ボタンを押す。

「アイコン選択」画面が表示されます。
アイコンを変更しない場合は、決定ボタンを押し、手順10へ進みます。



9 上下ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押す。

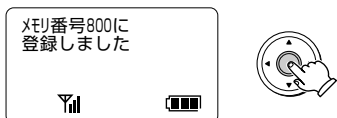
「メモリ番号入力」画面が表示されます。



10 メモリ番号を修正し、決定ボタンを押す。

元のメモリ番号に上書きする場合は、そのまま決定ボタンを押します。
電話帳データが上書きされ、待ち受け状態に戻ります。

<例>メモリ番号を800に指定した場合



ワンポイント

- 文字を修正するには (P57)



お知らせ

- 共通電話帳の修正は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共通電話帳を修正するときは、手順1で修正する共通電話帳を検索してください。

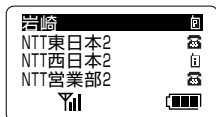
電話帳を削除するには

個別電話帳、共通電話帳に登録された電話帳を削除することができます。

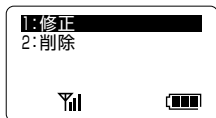
<例> 個別電話帳を削除する場合

1 削除する個別電話帳を検索する。

一覧画面が表示されます。

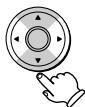
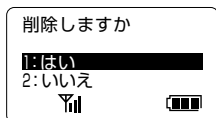


2 ボタンを押す。



3 上下ボタンで「削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。



4 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

選択した電話帳が削除され、電話帳の検索画面に戻ります。



ワンポイント

● 削除を中止するときは

手順4で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

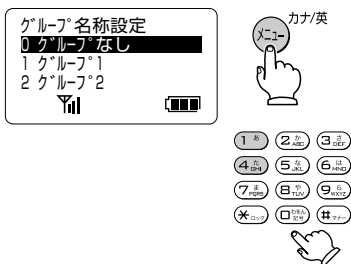
お知らせ

● 共通電話帳の削除は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共通電話帳を削除するときは、手順1で削除する共通電話帳を検索してください。

電話帳グループの名前をつけるには (個別電話帳)

個別電話帳の10個ある電話帳グループに「得意先」、「友人」などグループの名前を設定することができます。

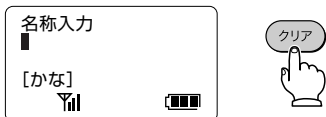
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**1 あ**
1 あ、**1 あ**、**4 た**の順に押す。
「グループ名称設定」画面が表示されます。



- 2** 上下ボタンでグループを選択し、
決定ボタンを押す。



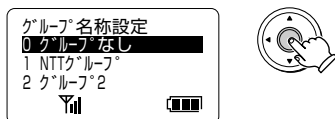
- 3** **クリア** ボタンを2秒以上押す。
現在のグループ名を消去します。



- 4** グループ名を入力する。
全角10文字、半角20文字まで入力することが
できます。
<例>「NTTグループ」と入力した場合



- 5** 決定ボタンを押す。
「グループ名称設定」画面に戻ります。



- 6** **電源** ボタンを押す。
グループ名が保存され、待ち受け状態に
戻ります。



ワンポイント

●文字を入力するには (→P55)

発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

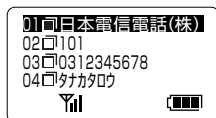
発信履歴や着信履歴の電話番号を個別電話帳（メモリ番号800～999）、共通電話帳（メモリ番号000～799）に登録することができます。

1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押す。

新しい順に発信履歴または着信履歴が4件表示されます。目的の履歴が表示されているときは、手順3に進みます。



<例>発信履歴ボタンを押して発信履歴を表示した場合

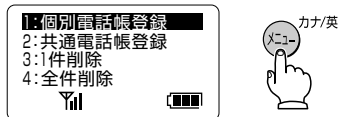


2 上下左右ボタンで登録する履歴を選択する。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

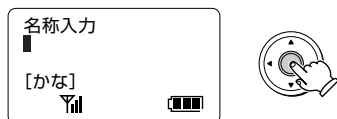


3 決定ボタンを押す。



4 「個別電話帳登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

「名称入力」画面が表示されます。



5 名称を入力する。

名称は全角10文字、半角20文字まで入力できます。



6 決定ボタンを押す。

フリガナ入力画面が表示されます。フリガナは名前入力時に入力された12文字までがそのまま表示されます。



7 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。

登録する相手の電話番号が表示されます。



8 決定ボタンを押す。



9 上下ボタンでグループを選択し、決定ボタンを押す。

「アイコン選択」画面が表示されます。

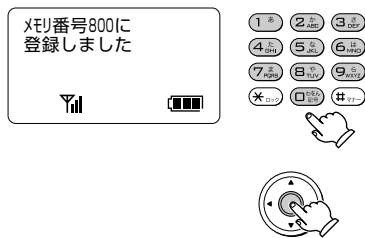


10 上下ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押す

「メモリ番号入力」画面が表示されます。空いている一番若いメモリ番号が表示されますので、そのままの場合は決定ボタンを押します。



11 登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

- 文字を入力するには (→P55)

お知らせ

- 共通電話帳の登録は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共通電話帳に登録するときは、手順4で「共通電話帳登録」を選択してください。

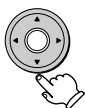
前に電話をかけた相手に再びかけるには (発信履歴)

こちらからかけた電話番号は、20件まで発信履歴として保存され、発信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。
電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

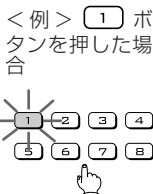
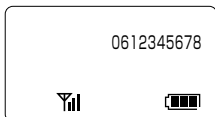
1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。
新しい順に発信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンでかけたい相手を選択する。
左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- **発信履歴に記録される内容は**
発信履歴に記録される内容は次のとおりです。
 - ・ 発信日時
 - ・ 回線の捕捉方法と相手の方の電話番号
 ※最大で20件分の内容を記憶します。ただし、同じ番号に発信したときは、件数には含まれません。
- **相手の方の名前が電話帳に登録されている場合は**
名前が表示されます。
- **発信履歴を電話帳に登録するには** (P72)
- **発信履歴ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには** (追加ダイヤル)
発信履歴ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。ただし、外線へのダイヤルの追加はできません。
- **発信履歴が内線の場合には**
手順3で、外線ボタンを押してください。



お知らせ

- 発信履歴は主装置に記録されています。

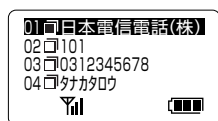
発信履歴を削除するには

発信履歴を検索したあとに削除することができます。また、発信履歴の全データを一度に削除することもできます。

発信履歴を選択して削除する

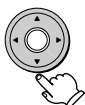
1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。

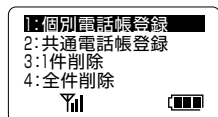


2 上下左右ボタンで削除する発信履歴を選択する。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

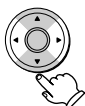
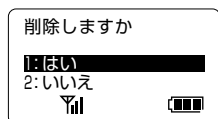


3 決定ボタンを押す。



4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。



5 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

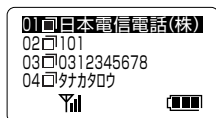
- 削除を中止するときは
手順5で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

発信履歴を削除するには

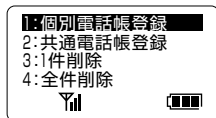
すべての発信履歴を削除する

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。

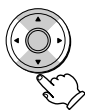
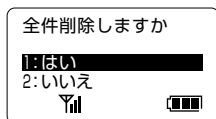


2 ボタンを押す。



3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

- 削除を中止するときは
手順4で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。



お知らせ

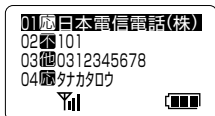
- 主装置を再起動したときは、発信記録は削除されます。

電話をかけてきた相手にこちらからかけるには (着信履歴)

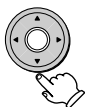
発信者番号が通知されている着信の電話番号は、32件まで着信履歴として保存され、着信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。
電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンでかけたい相手先を選択する。



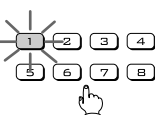
3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例> 1 ボタンを押した場合



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話する。

ワンポイント

●着信履歴に記録される内容は

以下の内容が記録されます。

- 着信日時
- 電話をかけてきた相手の方の電話番号
ネーム・ディスプレイを契約されている場合や、電話をかけてきた相手の方の電話番号と名前が共通電話帳／個別電話帳に登録されている場合は名前が記録されます。
- アドレス帳に登録されている名前は記録されません。

●着信履歴を電話帳に登録するには (P72)

●着信履歴のアイコン表示について



：着信応答しなかった場合



：他の外線電話機が応答した場合



：応答した場合

●着信履歴が内線の場合には

手順3で、内線ボタンを押してください。



お知らせ

- 着信履歴は主装置に記録されています。
- 着信履歴は32件を超えた場合は、古い記録から自動的に消去されます。

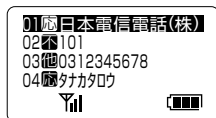
着信履歴を削除するには

着信履歴を検索したあとに削除することができます。また、着信履歴の全データを一度に削除することもできます。

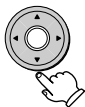
着信履歴を選択して削除する

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

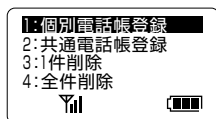
新しい順に着信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンで削除する着信履歴を選択する。

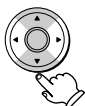
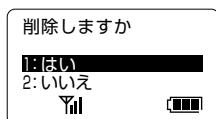


3 ボタンを押す。



4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。






5 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

●着信履歴のアイコン表示について

-  : 着信応答しなかった場合
-  : 他の内線電話機が応答した場合
-  : 応答した場合

●削除を中止するときは

手順5で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。



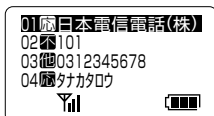
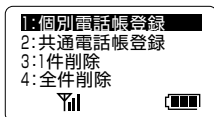
お知らせ

- 主装置を再起動したときは、着信記録は削除されます。

すべての着信履歴を削除する

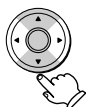
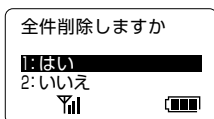
1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。

2  ボタンを押す。

3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

 ワンポイント

●着信履歴のアイコン表示について



：着信応答しなかった場合



：他の内線電話機が応答した場合



：応答した場合

●削除を中止するときは

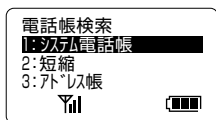
手順4で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

アドレス帳ダイヤルでかけるには (アドレス帳)

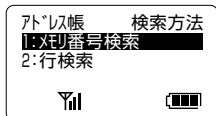
アドレス帳に登録されている電話番号をメモリ番号、または読み仮名で検索してから電話をかけることができます。

メモリ番号で検索してかける

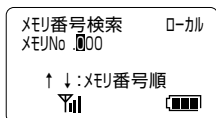
1 待ち受け状態で、**[M]** ボタンを押す。



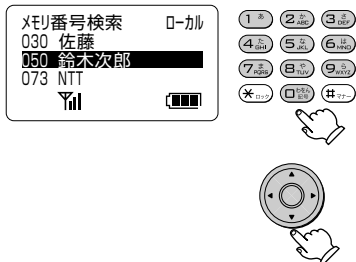
2 上下ボタンで「アドレス帳」を選択し、決定ボタンを押す。



3 「メモリ番号検索」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

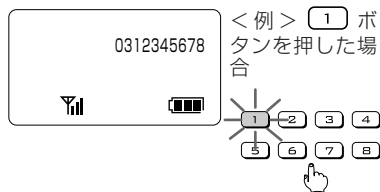


4 目的の電話帳のメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。または上下左右ボタンで目的の電話帳を選択する。



5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

6 相手の方が出たら、お話しする。




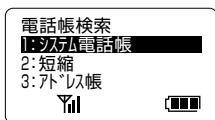
ワンポイント

- メモリ番号を表示させたあと前後のアドレス帳を表示させるには
手順4でメモリ番号を指定して表示したあと、上下ボタンでアドレス帳をスクロールすることができます。
- 登録されていないメモリ番号を入力した場合は次のメモリ番号のアドレス帳が表示されます。
- 指定できるメモリ番号は000～499です。
- 検索した電話番号が内線の場合には手順5で、内線ボタンを押してください。

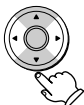
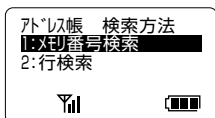
アドレス帳 ▶ アドレス帳を利用したその他の選択/発信操作は？ (P112)

読み仮名を検索してかける (行検索)

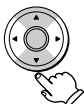
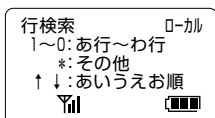
1 待ち受け状態で、 ボタンを押す。





2 上下ボタンで「アドレス帳」を選択し、決定ボタンを押す。

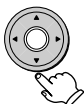
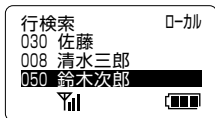


3 上下ボタンで「行検索」を選択し、決定ボタンを押す。



4 目的のアドレス帳の読み仮名を含む行(ア~ワ、その他)に対応しているダイヤルボタン(1 あ)~ (わおん記号)、 (ロック) を押し、上下左右ボタンでアドレス帳を選択する。


同じダイヤルボタンを続けて押すと、次の文字から始まるアドレス帳が一覧表示されます。

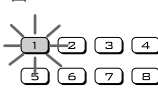


5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例>  ボタンを押した場合




しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

6 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- アドレス帳一覧に表示される順序
行検索をして表示される順序は、次のとおりです。
 - ① カタカナ (アイウエオ順)
 - ② 英字 (abc順)
 - ③ 数字 (0123456789、「記号」順)
- 検索した電話番号が内線の場合には
手順5で、外線ボタンを押してください。

 ▶ アドレス帳を利用したその他の選択/発信操作は? (P112)

アドレス帳に登録するには

よくかける相手の方の電話番号をアドレス帳に登録しておくと、アドレス帳を使って簡単に電話をかけることができます。

アドレス帳の登録は、それぞれのIPコードレス電話機から、またはパソコンから設定ソフトウェアを利用して行います。

アドレス帳に登録する

アドレス帳は500件まで登録できます。

アドレス帳1件につき、下記の内容を登録できます。

<文字を入力するには> (P58)

- ・ 名前 (全角10文字/半角20文字まで)
- ・ 読み仮名 (半角20文字まで)
- ・ 電話番号 (半角32桁まで)
- ・ メモリ番号 (000~499)

eメール利用の設定がある場合は、メールアドレス (半角英数64文字まで) も登録できます。

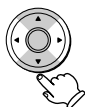
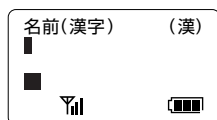
1 待ち受け状態で、 ボタンを2秒以上押す。

「電話帳登録」画面が表示されます。

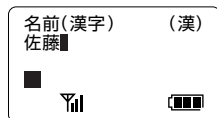


2 上下ボタンで「アドレス帳」を選択し、決定ボタンを押す。

「名前入力」画面が表示されます。

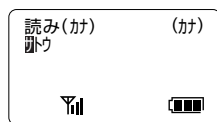


3 登録する相手の名前を入力する。



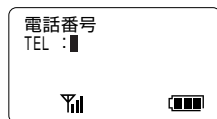
4 決定ボタンを押す。

「読み仮名入力」画面が表示されます。読み仮名は名前入力時に入力された20文字までがそのまま表示されます。



5 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。

「電話番号入力」画面が表示されます。



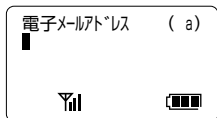
6 登録する相手の電話番号を入力する。

入力された電話番号が表示されます。

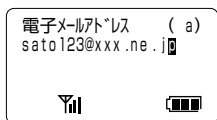


7 決定ボタンを押す。

eメールの設定がない場合は、手順9の「メモリ番号」画面に進みます。

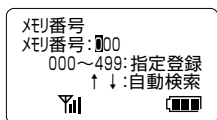


8 電子メールアドレスを入力する。



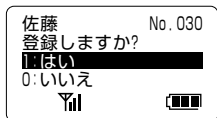
9 決定ボタンを押す。

「メモリ番号」画面が表示されます。空いている一番若いメモリ番号が表示されますので、そのままいい場合は決定ボタンを押して手順11へ進みます。



10 登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

登録を確認する画面が表示されます。

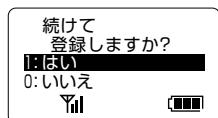


入力したメモリ番号にすでに電話帳が登録されている場合は、上書きの確認画面が表示されます。

上書きしない場合は、上下ボタンで「いいえ」を選択したあと決定ボタンを押し、別の番号を入力し直します。

11 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

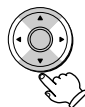
「続けて登録しますか?」と表示されます。



登録を続ける場合は、「はい」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、手順3~11を繰り返します。

12 上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押す。

「電話帳登録」画面に戻ります。



13 電源ボタンを押す。

アドレス帳に保存され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)
- アドレス帳を修正するには (P84)

お知らせ

- 待ち受け状態で (1) ボタン、(4) ボタン、(9) の順に押し、アドレス帳の登録操作を行うことができます。
- 読み仮名には、半角の「カタカナ」、「英字」、「数字」、「記号」が入力できます。

アドレス帳を修正するには

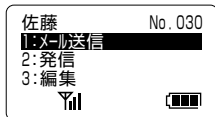
アドレス帳に登録された登録内容を修正することができます。

1 修正するアドレス帳を検索し、決定ボタンを押す。

「詳細」画面が表示されます。



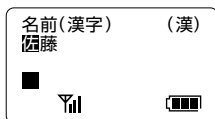
2 ボタンを押す。




3 上下ボタンで「編集」を選択し、決定ボタンを押す。

「名前修正」画面が表示されます。

名前を修正しない場合は、手順5へ進みます。



4 名前を修正する。

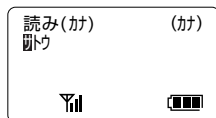
 ボタンを押し、名前を削除して修正してください。

<例> 「佐藤」を「鈴木」に修正する場合



5 決定ボタンを押す。

読み仮名を修正しない場合は、決定ボタンを押して手順7へ進みます。



6 読み仮名を修正し、決定ボタンを押す。



電話番号を修正しない場合は、決定ボタンを押し、手順8へ進みます。

7 電話番号を修正し、決定ボタンを押す。

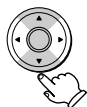
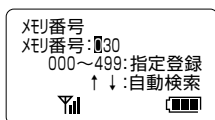
「電子メールアドレス入力」画面が表示されます。

電子メールアドレスを修正しない場合は、決定ボタンを押して手順9へ進みます。



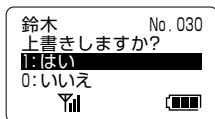
8 電子メールアドレスを修正し、決定ボタンを押す。

「メモリ番号」画面が表示されます。
メモリ番号を修正しない場合は、決定ボタンを押して手順10へ進みます。



9 メモリ番号を修正し、決定ボタンを押す。

メモリ番号を修正した場合には、「上書きしますか?」と表示されます。



10 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

元のアドレス帳データが上書きされ、アドレス帳の詳細画面に戻ります。
しばらくすると、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

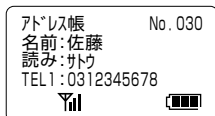
- 文字を修正するには (→P60)

アドレス帳を削除するには

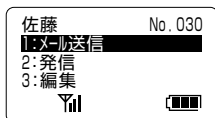
アドレス帳を選択して削除することができます。

1 削除するアドレス帳を検索し、決定ボタンを押す。

「詳細」画面が表示されます。

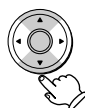
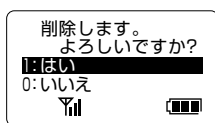


2 ボタンを押す。



3 上下ボタンで「削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。



4 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

選択したアドレス帳が削除され、アドレス帳の検索画面に戻ります。



ワンポイント

● 削除を中止するときは

手順4で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

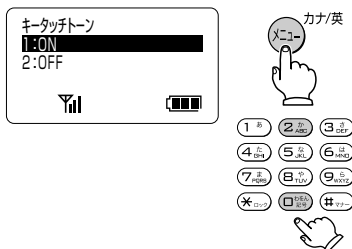
キータッチトーンの設定をするには

内線や外線を捕捉してダイヤルボタン（**0** ワイド
記号）～（**9** ら
WXYZ）、（***** ロック）、（**#** マナー）
を押したときに音を鳴らすかどうかを設定できます。お買い求め時は、「ON」
に設定されています。

1 待ち受け状態で、**X** カナ/英 ボタン、

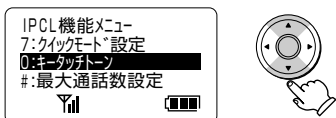
2 か
ABC **0** ワイド
記号 の順に押す。

「キータッチトーン」画面が表示されます。



2 上下ボタンで「ON」または「OFF」 を選択し、決定ボタンを押す。

キータッチトーンが保存されます。



3 **電源** ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

●キータッチトーンは、電源を切っても保持されます。

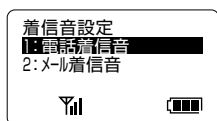
着信音を変えるには

電話着信とメール着信それぞれに対応する着信音を設定できます。

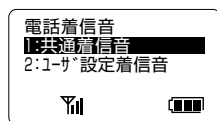
電話の着信音を変更する

お買い求め時は、「共通着信音」に設定されています。

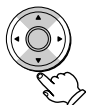
- 1 待ち受け状態で、 ボタン、
 の順に押す。
「着信音設定」画面が表示されます。



- 2 「電話着信音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

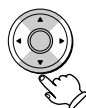
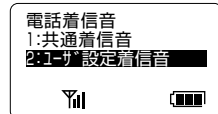


- 3 上下ボタンで「ユーザ設定着信音」を選択し、決定ボタンを押す。



- 4 上下ボタンで着信音を選択し、決定ボタンを押す。

着信音設定が保存されます。



- 5 ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



お知らせ




- パソコンから設定ソフトウェアを利用して、IPコードレス電話機に着信音を追加し、「メロディ設定」画面から選択することができます。最大5曲（合計7曲）まで追加できます。（●Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション取扱説明書）

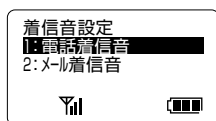
＜追加した着信音のファイル名について＞

- 最大17文字まで表示されます。17文字を超えた分は表示されません。
- 拡張子は表示されません。

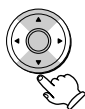
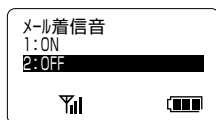
メールの着信音を変更する

お買い求め時は、「OFF」に設定されています。

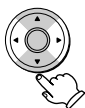
- 1** 待ち受け状態で、 ボタン、
  順に押す。
「着信音設定」画面が表示されます。



- 2** 上下ボタンで「メール着信音」を選択し、決定ボタンを押す。

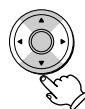



- 3** 上下ボタンで「ON」を選択し、決定ボタンを押す。



- 4** 上下ボタンで着信音を選択し、決定ボタンを押す。

着信音設定が保存されます。



- 5**  ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- メールの着信音の設定は、電源を切っても保持されます。
- パソコンから設定ソフトウェアを利用して、IPコードレス電話機に着信音を追加し、「メロディ設定」画面から選択することができます。最大5曲（合計7曲）まで追加できます。（Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション取扱説明書）

<追加した着信音のファイル名について>

- 最大17文字まで表示されます。17文字を超えた分は表示されません。
- 拡張子は表示されません。

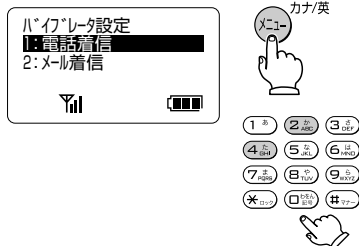
着信を振動で知らせるには (バイブレーション着信)

バイブレーション着信を設定すると、着信音量に関係なく着信を振動でお知らせします。また、着信音を鳴らす設定にしているときは、着信音とバイブレーション着信が同時に行われます。

バイブレーション着信を設定する

- 1** 待ち受け状態で、**カナ/英** ボタン、**2** **か ABC** **4** **た GH** の順に押す。

「バイブレーション設定」画面が表示されます。



- 2** 上下ボタンで「電話着信」または「メール着信」を選択し、決定ボタンを押す。

<例> 「電話着信」を選択した場合



- 3** 上下ボタンでパターンを選択し、決定ボタンを押す。

バイブレーション設定が保存され、「バイブレーション設定」画面に戻ります。



- 4** **電源** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

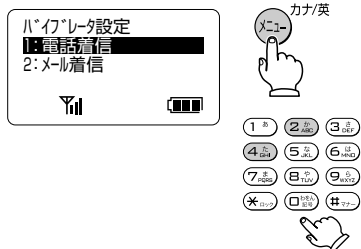
- マナーモードが設定されている場合はマナーモードのバイブレーションの設定に従います。(P92)

お知らせ

- バイブレーション着信の設定は、電源を切っても保持されます。

バイブレーション着信を解除する

- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**2** **か** **ABC** **4** **た** **GH** の順に押す。
「バイブレーション設定」画面が表示されます。



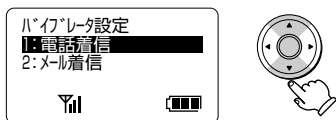
- 2** 上下ボタンで「電話着信」または「メール着信」を選択し、決定ボタンを押す。

<例> 「電話着信」を選択した場合



- 3** 上下ボタンで「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。

バイブレーション設定が解除され、「バイブレーション設定」画面に戻ります。



- 4** **電源** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



マナーモードを設定するには

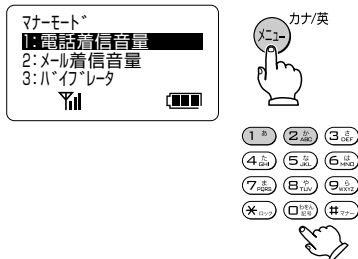
周囲の迷惑にならないように、あらかじめ着信音、バイブレーションのON（パターン3種類）/OFFなどのマナーモードの機能をそれぞれ設定しておくことができます。マナーモードは、**(#777)**（マナー）ボタンを2秒以上押して設定/解除します。

マナーモードの機能を設定する

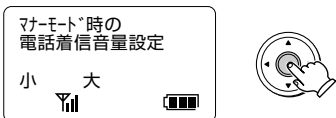
お買い求め時は、電話着信音量が「無音」、メール着信音量が「無音」、バイブレーションが「OFF」に設定されています。

- 1** 待ち受け状態で、**(M)** ボタン、**(2 か ABC)** **(1 あ)** の順に押す。

「マナーモード」画面が表示されます。

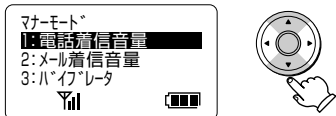


- 2** 「電話着信音量」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

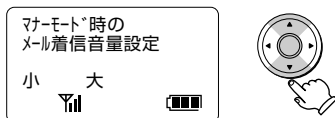


- 3** 上下ボタンで電話着信音量を調節し、決定ボタンを押す。

マナーモード時の電話着信音量が設定され、「マナーモード」画面に戻ります。無音も含め、4段階に調節できます。



- 4** 上下ボタンで「メール着信音量」を選択し、決定ボタンを押す。

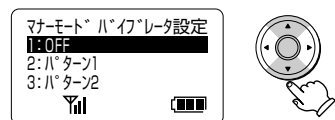


- 5** 上下ボタンでメール着信音量を調節し、決定ボタンを押す。

マナーモード時のメール着信音量が設定され、「マナーモード」画面に戻ります。無音も含め、4段階に調節できます。



- 6** 上下ボタンで「バイブレーション」を選択し、決定ボタンを押す。



- 7** 上下ボタンでバイブレーションの「OFF」またはパターンを選択し、決定ボタンを押す。

バイブレーションの状態が設定され、「マナーモード」画面に戻ります。



8

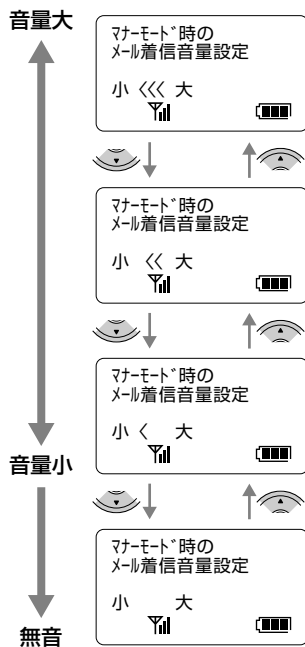
 ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



お知らせ 

- マナーモードの機能を設定するときの着信音量調節は、下記のように表示されます。

<例> 「メール着信音量」を選択した場合



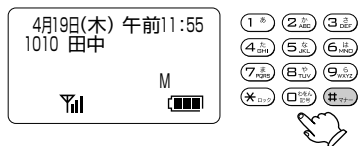
- マナーモードの設定は、電源を切っても保持されます。

マナーモードを設定するには

マナーモードを設定する

1 待ち受け状態で、**(# マナー)** ボタンを2秒以上押す。

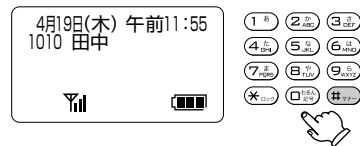
「M」が表示され、マナーモードに設定されます。



マナーモードを解除する

1 マナーモード状態で、**(# マナー)** ボタンを2秒以上押す。

「M」の表示が消え、マナーモードが解除されます。



お知らせ

- マナーモード中の内線個別音声呼出は、マナーモード時の電話着信音量設定でお知らせします。
- 「M」は待ち受け画面のとき、または着信中に相手の方の電話番号や名前が通知されない場合に表示されます。

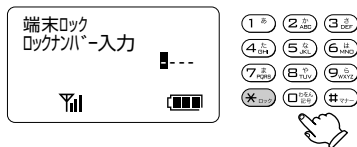
誤操作を防止するには (キーロック)

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。

キーロックを設定する

1 待ち受け状態で、(＊ロック) ボタンを2秒以上押す。

「端末ロック」画面が表示されます。



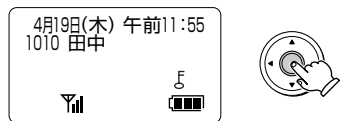
2 ロックナンバー4桁を入力する。

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。



3 決定ボタンを押す。

⏏ が表示され、キーロックが設定されます。



キーロックを解除する

1 キーロック状態で、(＊ロック) ボタンを2秒以上押す。

「端末ロック解除」画面が表示されます。



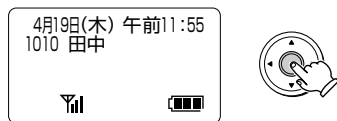
2 ロックナンバー4桁を入力する。

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。



3 決定ボタンを押す。

⏏ の表示が消え、キーロックが解除されます。



ワンポイント

- 電話がかかってきたときは
着信した外線ボタン(☎フック) ボタンまたは(内線) ボタンを押してください。一時的にキーロックが解除され、通話することができます。電話を切ると再びキーロックが設定されます。
- ロックナンバーを設定していない場合は
(＊ロック) ボタンを2秒以上押すだけで、キーロックを設定/解除できます。手順2以降の操作は必要ありません。



お知らせ

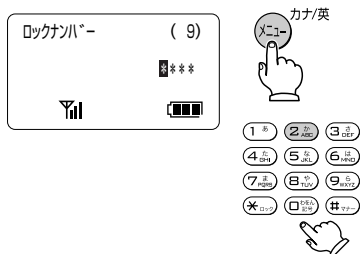
- ロックナンバーを間違えた場合は (クリア) ボタンを押し、再度入力し直してください。
- ロック操作を途中で止めたい場合は、(電源) ボタンを押してください。

誤操作を防止するには (キーロック)

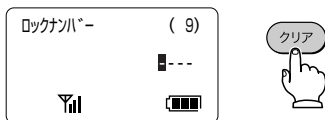
ロックナンバーを変更する

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。

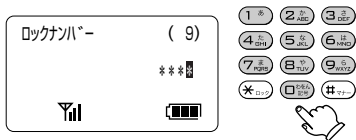
- 1** 待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**2** **か** **ABC** **2** **か** **ABC** の順に押す。
「ロックナンバー」画面が表示されます。



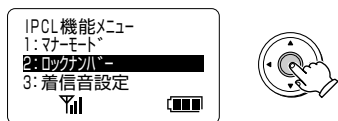
- 2** **クリア** ボタンを押す。
ロックナンバーが消去されます。



- 3** ロックナンバー4桁を入力する。



- 4** 決定ボタンを押す。
ロックナンバーの設定が保存されます。



- 5** **電源** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- ロックナンバー未入力の設定をすると
ロックナンバーの入力なしでキーロック機能を使用できません。

お知らせ

- 設定したロックナンバーは、キーロックの設定や解除をするときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、設定したロックナンバーを忘れてしまったときは、設定ソフトウェアで確認することができます。または、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 入力した番号は「*」で表示されます。
- 設定したロックナンバーは、電源を切っても保持されます。

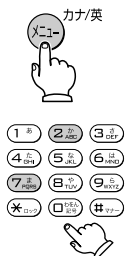
クイックモードを設定するには

クイックモードを設定すると、電話をかけるとき、受けるときの操作が次のようになります。

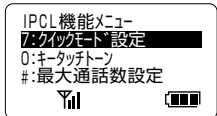
- 電話がかかってきたときは、充電台からIPコードレス電話機を取りあげたあとそのまま相手の方と通話できます。
- 待ち受け中にIPコードレス電話機を充電台から取りあげるだけで内線（αGX typeL主装置のデータ設定で「オフフック内線自動捕捉」を設定している場合）、または外線（αGX typeL主装置のデータ設定で「オフフック外線自動捕捉」を設定している場合）を捕捉することができます。
- IPコードレス電話機を充電台に置くだけで通話を終了することができます。

クイックモードを設定する

- 1 待ち受け状態で、 ボタン、
 の順に押す。
「クイックモード設定」画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで「ON」を選択し、決定ボタンを押す。
クイックモードの設定が保存されます。



- 3 ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。

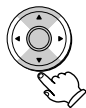
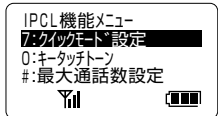


クイックモードを解除する

- 1 待ち受け状態で、 ボタン、
 の順に押す。
「クイックモード設定」画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。
クイックモードの設定が解除されます。



- 3 ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。

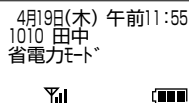


お知らせ

- キーロックを設定している場合は、クイックモードの設定は無効です。
- クイックモードを設定していない場合は、IPコードレス電話機を充電台に置いても通話は終了しません。電源ボタンを押して終了してください。

省電力モードを設定するには

省電力モード設定時は、10秒以上IPコードレス電話機が動作しない状態が続くと、外線ランプ表示が消えて省電力モードになります（省電力モード時は、画面に「省電力モード」と表示されます）。省電力モードを利用すると、電池の使用可能時間を延長することができます。お買い求め時は「OFF」に設定されています。

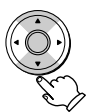
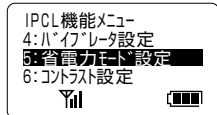


省電力モードを設定する

- 1 待ち受け状態で、**Xメニュー** ボタン、**2** **か ABC** **5** **な JKL** の順に押す。
「省電力モード設定」画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで「ON」を選択し、決定ボタンを押す。
省電力モードが設定されます。



- 3 **電源** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。

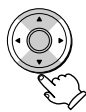
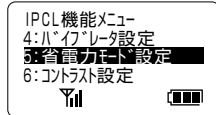


省電力モードを解除する

- 1 待ち受け状態で、**Xメニュー** ボタン、**2** **か ABC** **5** **な JKL** の順に押す。
「省電力モード設定」画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。
省電力モードが解除されます。



- 3 **電源** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

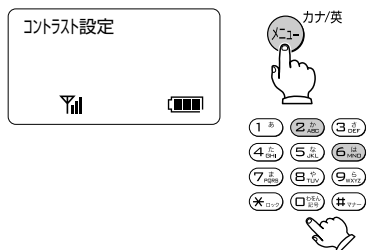
- 電話がかかってくると、自動的に省電力モードは解除されます。
- 省電力モード中にボタン操作をすると、省電力モードが解除され、最初に押されたボタン操作は無効となります。
- 省電力モードの設定は、電源を切っても保持されます。
- 充電しているとき、通話をしているとき、着信ランプが点滅しているとき、お話ししている通話を保留中のときは、省電力モードになりません。

液晶ディスプレイのコントラストを 変えるには

液晶ディスプレイ表示の濃度（コントラスト）を8段階に調節できます。

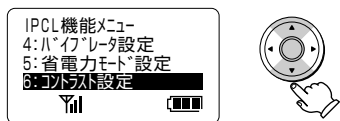
- 1** 待ち受け状態で、**（X）** ボタン、**（2）** の順に押す。

「コントラスト設定」画面が表示されま
す。



- 2** 上下ボタンでコントラストを調節し、**決定ボタン**を押す。

上下ボタンを押すと、液晶ディスプレイ
表示の濃度が変わります。
決定ボタンを押すとコントラスト設定が
保存されます。



- 3** **（電源）** ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



液晶ディスプレイのコントラストを変えるには
省電力モードを設定するには



お知らせ

●コントラスト設定は、電源を切っても保持されます。

eメールを作成して送信するには

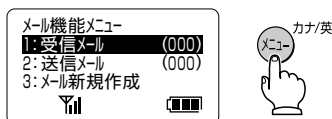
IPコードレス電話機はeメールサービスをご利用になれます。eメールサービスをご利用になるには、プロバイダとの契約と設定が必要です。(P123)
ここでは、eメールを新規に作成し、送信する操作について説明します。

1. 宛先を入力する

半角64文字まで入力することができます。

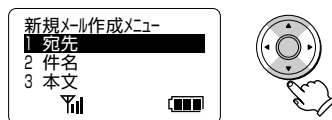
1 待ち受け状態で  ボタンを2秒以上押す。

「メール機能メニュー」画面が表示されます。

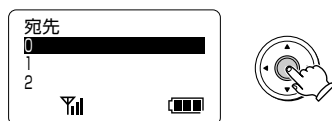


2 上下ボタンで「メール新規作成」を選択し、決定ボタンを押す。

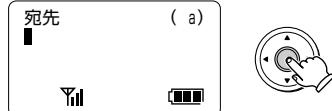
「新規メール作成メニュー」画面が表示されます。



3 「宛先」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。




4 決定ボタンを押す。



5 送信するメールアドレスを入力する。

<例> 「sato123@example.com」と入力する場合

 ボタンを押して、アドレス帳のメールアドレスを選択することもできます。



6 決定ボタンを押す。



7 上下ボタンで宛先のタイプを選択し、決定ボタンを押す。

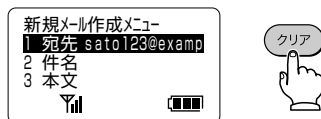
最大10件の宛先を設定できます。ただし、最低1件は「TO」の指定が必要です。



宛先を追加する場合は、上下左右ボタンで空いている番号を選択し、手順4～7を行います。

8  ボタンを押す。

「新規メール作成メニュー」画面に戻ります。



お知らせ

- eメールは、設定を行わないと操作できません。(P123)



ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)

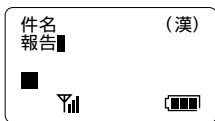
2. 件名を入力する

全角15文字、半角30文字まで入力することができます。

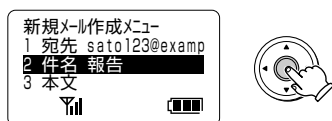
- 1 「新規メール作成メニュー」画面で、上下ボタンで「件名」を選択し、決定ボタンを押す。



- 2 件名を入力する。
<例>「報告」と入力した場合



- 3 決定ボタンを押す。
「新規メール作成メニュー」画面に戻ります。



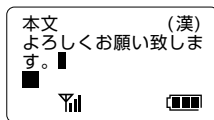
3. 本文を入力する

全角1000文字、半角2000文字まで入力することができます。

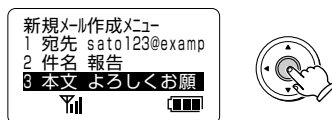
- 1 「新規メール作成メニュー」画面で、上下ボタンで「本文」を選択し、決定ボタンを押す。



- 2 本文を入力する。



- 3 決定ボタンを押す。
「新規メール作成メニュー」画面に戻ります。



ワンポイント

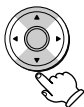
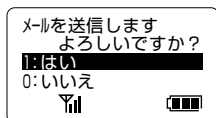
- 文字を入力するには (P58)

お知らせ

- 入力データ（下段）が何もなしに「クリア」ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。
- eメール本文では、カタカナモードを使用できません。

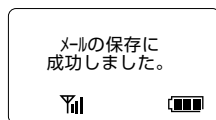
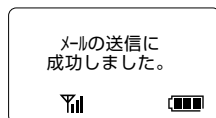
4. 作成したeメールを送信する

- 1 「新規メール作成メニュー」画面で、上下ボタンで「メール送信」を選択し、決定ボタンを押す。




- 2 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

しばらくすると、「メールの送信に成功しました。」→「メールの保存に成功しました。」と表示され、その後待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- 手順2で、「いいえ」を選択して決定ボタンを押すと、未送信メールとして保存することができます。未送信メールは、送信メール一覧に  が表示されます。未送信メールを送信する場合は、一度編集モードにしてから送信してください。
- 送信したメールは、未送信メールと合わせて最大100件まで保存されます。
- 送信に失敗した場合、未送信メールとして保存されます。
- 送信したメールが未送信メールと合わせて100件になると、新しくメールを作成することができません。削除してください。(☛P107)



▶ メール機能を利用しているときの着信は？
(☛P112)

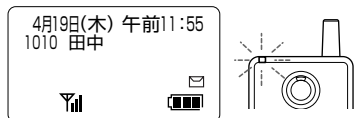
eメールを受信するには

受信したeメールを返信／転送したり、アドレス帳に登録することができます。また、通常はIPコードレス電話機は自動的にeメールを受信しますが、手動でメールサーバをチェックすることもできます。

eメールを受信する

メールが着信すると着信ランプが赤で点滅し、着信音が鳴る。

ディスプレイに✉が表示されます。



ワンポイント

- 新着メッセージのチェック間隔を設定するには (➡P131)




お知らせ

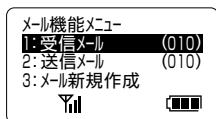
- 送信元のメールアプリケーションの仕様により、文字化けすることがあります。




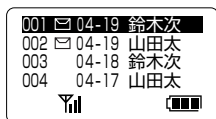
- ▶メール機能を利用しているときの着信は？ (➡P112)

受信したeメールを表示する

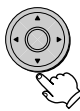
- 1  ボタンを2秒以上押す。
「メール機能メニュー」画面が表示されます。



- 2 「受信メール」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
「受信メール一覧」画面が表示されます。未読のメールには  が表示されます。

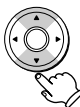


- 3 上下左右ボタンで表示させたいメールを選択し、決定ボタンを押す。





- 4 上下ボタンで表示させたい内容を選択する。

<例> 「本文」を選択した場合




- 5 決定ボタンを押す。

本文
業務連絡です。明日の
午後より緊急の会議を
行います。場所は本社
 



ワンポイント


- 受信メールの相手先をアドレス帳に登録するには
手順4で「from」を選択したあとに  ボタンを押すとアドレス帳の登録画面が表示され、送信者のメールアドレスを登録することができます。
<アドレス帳に登録する> (➡P82)
- 件名で表示させたいメールを選択するには
手順3のあとで、左右ボタンで選択してください。

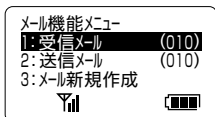


お知らせ

- 受信したメールは、最大100件まで保存されます。
- 受信したメールが100件になると新しくメールを受信することができません。削除してください。(➡P107)
- メッセージの受信時間は、24時間表示です。
- 受信したメールに半角英数字がある場合は、全角英数字に変換されます。
- メール最大の受信文字数は、全角1000文字です。全角1000文字を超えた分は削除されます。
- メールの内容によっては、1000文字受信できないことがあります。
- 手順4で「from」を選択した場合は、メールアドレスが表示されます。
- 添付ファイルつきメールや、HTMLメールには対応していません。添付ファイルつきメールや、HTMLメールを受信した場合は、宛先と件名のみが表示されます。
- IPコードレス電話機が表示できる文字コードは、ISO-2022-JPのみです。その他の文字コードで受信した場合は、正常に表示できない場合があります。
- IPコードレス電話機が表示できるのは、第2水準漢字までです。第2水準漢字以外の文字コードで受信した場合は「※」を表示します。
- 件名に(削除)がついたメールが受信されるときがあり、その場合、次のような制約事項があります。
 - ・「受信日時」「from」「件名」「宛先」などが表示されない場合があります。
 - ・返信、全員に返信、転送を行うことができません。

受信したeメールを返信／転送する

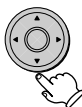
- 1  ボタンを2秒以上押す。
「メール機能メニュー」画面が表示されます。




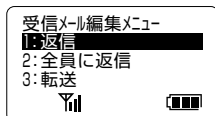
- 2 「受信メール」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
「受信メール一覧」画面が表示されます。



- 3 上下左右ボタンで返信／転送したいメールを選択し、決定ボタンを押す。

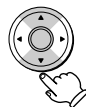
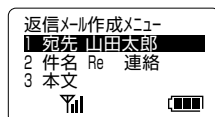


- 4  ボタンを押す。
「受信メール編集メニュー」画面が表示されます。

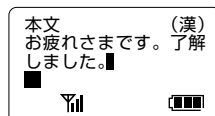


- 5 上下ボタンで編集メニューを選択し、決定ボタンを押す。

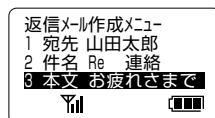
<例> 「返信」を選択した場合



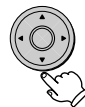
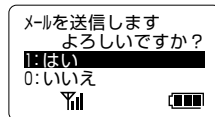
- 6 件名や本文を選択、編集する（転送の場合は宛先も選択する）。



- 7 決定ボタンを押す。

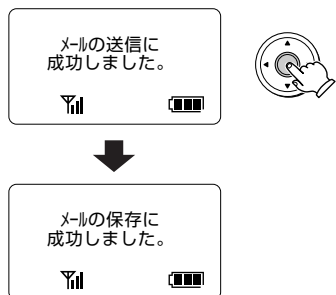


- 8 上下左右ボタンで「メール送信」を選択し、決定ボタンを押す。



9 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

しばらくすると、「メールの送信に成功しました。」→「メールの保存に成功しました。」と表示され、その後待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 宛先、件名、本文を編集するには
<eメールを作成して送信するには> (P100)
- 引用文設定をするには
引用文設定をすると、eメールを返信または転送するときに本文を引用することができます。(P133)

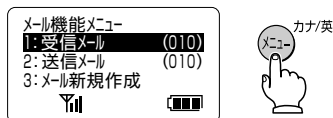
お知らせ

- 送信に失敗した場合、未送信メールとして保存されます。
- 送信したメールは、未送信メールと合わせて最大100件まで保存されます。
- 送信したメールが未送信メールと合わせて100件になると、返信、転送ができません。削除してください。(P107)
- 全員に返信を行うと自分宛にも返信されます。
- 全員に返信を行う場合は最大10人までです。10人を超える場合は、全員に返信されません。

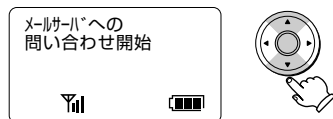
メール ▶ メール機能を利用しているときの着信は？ (P112)

手動でeメールを受信する

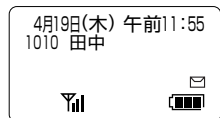
- 1 ボタンを2秒以上押す。
「メール機能メニュー」画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで「メールサーバ問い合わせ」を選択し、決定ボタンを押す。
メールサーバへの問い合わせを開始します。




メールサーバからメールを受信した場合は、ディスプレイに✉が表示されます。受信メールがない場合は、そのまま待ち受け状態に戻ります。

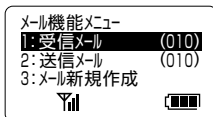


eメールを削除するには

1件またはすべての送受信メールを削除します。

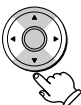
メールを1件削除する

- 1  ボタンを2秒以上押す。
「メール機能メニュー」画面が表示されます。

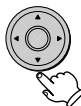



- 2 上下ボタンで「受信メール」または「送信メール」を選択し、決定ボタンを押す。

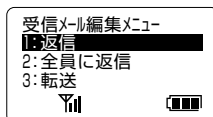
「メール一覧」画面が表示されます。
〈例〉「受信メール」を選択した場合



- 3 上下左右ボタンで削除したいメールを選択し、決定ボタンを押す。

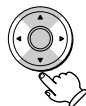
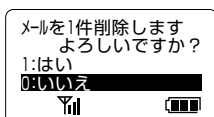


- 4  ボタンを押す。
「受信メール編集メニュー」画面が表示されます。



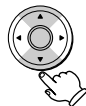
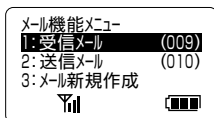
- 5 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押す。


削除確認画面が表示されます。



- 6 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。

選択したメール1件が削除され、「メール機能メニュー」画面に戻ります。



- 7  ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。




ワンポイント


- 削除を中止するときは
手順6で、「いいえ」が選択されていることを確認して決定ボタンを押してください。メールの削除が中止され、「受信メール編集メニュー」画面に戻ります。

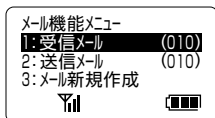
お知らせ

- eメールを削除した場合、元に戻すことはできません。

-  メール ▶ メール機能を利用しているときの着信は？
(P112)

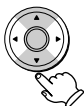
すべての受信メール、または送信メールを削除する

- 1**  ボタンを2秒以上押す。
「メール機能メニュー」画面が表示されます。

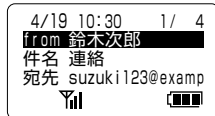



- 2** 上下ボタンで「受信メール」または「送信メール」を選択し、決定ボタンを押す。

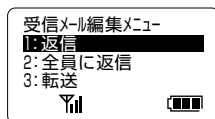
「メール一覧」画面が表示されます。
<例> 「受信メール」を選択した場合



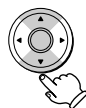
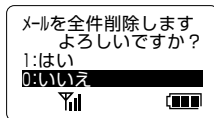
- 3** 決定ボタンを押す。



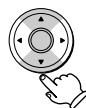
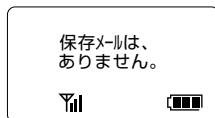
- 4**  ボタンを押す。
「受信メール編集メニュー」画面が表示されます。




- 5** 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。



- 6** 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。
すべての受信メール、または送信メールが削除され、「メール機能メニュー」画面に戻ります。



- 7**  ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。


 **ワンポイント**

- 削除を中止するときは

手順6で、「はいえ」が選択されていることを確認して決定ボタンを押してください。メールの削除が中止され、「受信メール編集メニュー」画面に戻ります。



- ▶ メール機能を利用しているときの着信は？ (P112)

署名をつけるには

事前に設定した署名を、メール本文の最後に追加することができます。

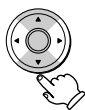
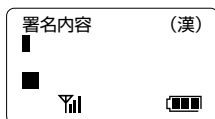
署名を作成する

全角30文字、半角60文字まで入力することができます。

- 1 待ち受け状態で ボタン、
4 の順に押す。
6 の順に押す。
「署名設定」画面が表示されます。



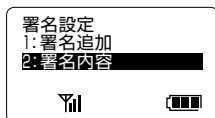
- 2 上下ボタンで「署名内容」を選択し、決定ボタンを押す。



- 3 署名の内容を入力する。



- 4 決定ボタンを押す。
署名内容が保存されます。
「署名設定」画面に戻ります。



- 5 ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。



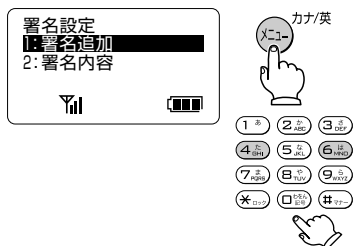
ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)

- メール ▶ メール機能を利用しているときの着信は？ (P112)

署名をつける

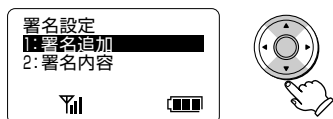
- 1 待ち受け状態で **X-1** ボタン、
4 た GH **6** は MND の順に押す。
 「署名設定」画面が表示されます。



- 2 「署名追加」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 3 上下ボタンで「行う」を選択し、
 決定ボタンを押す。
 署名追加設定が保存されます。
 「署名設定」画面に戻ります。



- 4 **電源** ボタンを押す。
 待ち受け状態に戻ります。



メール ▶ メール機能を利用しているときの着信は？
 (☞P112)

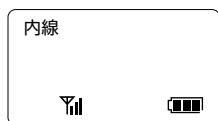
この取扱説明書で説明している操作方法に関して、共通して役に立つ便利な操作や操作上の注意点などをまとめています。アイコンを目印にして、本文中から簡単に参照できるようになっています。



通話

クイックモードが設定されているときは？ PBXなどに接続しているときは？

- ・電話機を充電台から取りあげると、内線の捕捉ができます。また、αGX typeL主装置のデータ設定で「オフフック外線自動捕捉」を設定している場合は外線の捕捉ができます。
- ・外線発信番号と相手の方の電話番号を押して電話をかけます。



- ・着信中に充電台から取りあげると、着信に応答することができます。
- ・通話中に電話機を充電台に置いて通話を終了することができます。



表示


液晶ディスプレイに表示される通話時間は？

- ・通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。
- ・通話時間は、最大「9-59-59」（9時間59分59秒）まで表示されます。10時間以上になった場合は、「9-59-59」のまま表示は変わりません。



アドレス帳

アドレス帳を利用したその他の選択／発信操作は？

- ・アドレス帳に登録された内線番号にかけたい場合は、外線ボタンの代わりに  ボタンを押してください。
- ・目的のアドレス帳の内容を確認して発信したい場合、アドレス帳選択後に決定ボタンを押すと詳細情報を確認できます。そのあと外線ボタンを押すと発信されます。

- ・アドレス帳一覧が表示されている状態では、上下ボタンで一覧のスクロール、右左ボタンで前後のページを表示することができます。





eメール

メール機能を利用しているときの着信は？

- ・メール操作中に着信があると、操作中の画面のまま着信音が鳴ります。着信に応答するときはメール操作を終了してください。
- ・手動でeメールを受信しているときに着信があると、着信音が鳴りますが、着信画面は表示されません。電源ボタンを押して、着信画面を表示させてから、着信に応答してください。

- ・eメールの設定を行っているときに着信があると、着信音が鳴りますが、着信画面は表示されません。メニューを終了して着信に回答してください。
- ・eメールの削除を行っているときに着信があると、着信音が鳴りますが、着信画面は表示されません。メニューを終了して着信に回答してください。

メニューボタンで設定できる機能の一覧

登録操作は  ボタンを押し、メニュー番号を入力して行います。また、 ボタンを押しただあと、上下ボタンで目的のメニューを表示することもできます。「1.システムメニュー」の設定は、ネットコミュニティシステム αGX typeL取扱説明書を参照してください。

メニュー項目	メニュー番号	設定内容	初期値	参照	
マナーモード	電話着信音量	マナーモード時の電話着信音量を設定します。	無音	P92	
	メール着信音量	マナーモード時のメール着信音量を設定します。	無音		
	バイブレータ	マナーモード時のバイブレーションを設定します。	2パターン1		
ロックナンバー	22	ロックナンバーを設定します。	0000	P96	
設定 着信音	電話着信音	電話着信音を設定します。	1:共通着信音	P88	
	メール着信音	メール着信音を設定します。	2:OFF	P89	
設定 バイブレータ	電話着信	電話着信時のバイブレーションを設定します。	1:OFF	P90	
	メール着信	メール着信時のバイブレーションを設定します。	1:OFF		
省電力モード設定	25	省電力モードの設定を行います。	2:OFF	P98	
コントラスト設定	26	液晶ディスプレイのコントラストの設定を行います。	4段階	P99	
クイックモード設定	27	クイックモードの設定を行います。	2:OFF	P97	
キータッチトーン	20	キータッチトーンの設定を行います。	1:ON	P87	
最大通話数設定	2#	最大通話数の設定を行います。	0:無効	P121	
メール設定	ユーザ情報	411	名前を登録します。	-	P124
		412	電子メールアドレスを登録します。	-	~ P125
		413	返信メールアドレスを登録します。	-	
	サーバ情報	421	受信メール (POP) を登録します。	-	P126
		422	送信メール (SMTP) を登録します。	-	
		423	受信後に送信を行うかどうかを選択します。	1:行う	-
	受信メールサーバ	431	アカウント名を設定します。	-	P127
		432	パスワードを設定します。	-	~ P128
サーバのポート番号	441	受信メール (POP) のポート番号を設定します。	110	P129	
	442	送信メール (SMTP) のポート番号を設定します。	25	~ P130	

(次ページにつづく)

メニューボタンで設定できる機能の一覧

メニュー項目		メニュー番号	設定内容	初期値	参照	
メール設定	サーバメッセージ保存設定	45	メール受信後もサーバにメッセージを保存する設定をします。	2:受信後サーバから削除	☛P132	
	署名設定	461	署名をつけるかどうかを設定します。	2:行わない	☛P110	
		462	署名を作成します。	—	☛P109	
	引用文設定	47	引用文の設定を行います。	2:引用しない	☛P133	
	新着メッセージチェック間隔	48	新着メッセージのチェック間隔を設定します。	2:行わない	☛P131	
	アドレス帳登録	49	アドレス帳の新規登録を行います。	—	☛P82	
無線関連設定	接続情報設定	31	接続情報設定をします。	20対地	☛P116 ~P118	
	SSID設定		1	SSIDを設定します。		wireless
	暗号化タイプ設定		2	暗号化タイプを設定します。		1:無効
	IPアドレス設定		3	IPアドレスを設定します。		1:DHCP ON
	DNSサーバ設定		4	DNSサーバを設定します。		0.0.0.0
	データレート	32	無線 LAN の通信速度を設定します。	1:BEST	—	
	スキャンチャンネル設定	33	無線 LAN で使用するチャンネルを設定します。	1*6*11	☛P119	
	情報取得アドレス	341	主装置等と通信するためのアドレスを設定します。	224.0.0.205	—	
	情報取得ポート	342	主装置等と通信するためのポート番号を設定します。	60060	—	
	無線接続	35	無線の再接続を行います。	—	—	
	自動登録	36	Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) との自動登録を開始します。	—	☛P122	

メニュー項目		メニュー番号	設定内容	初期値	参 照
MAC アドレス表示	IPアドレス 確認	*1	IPアドレス関連の設定値を確認できます。	—	—
	MACアド レス表示	*2	自端末とアクセスポイントのMACアドレス を表示します。	—	—
ローカ ル設定 データ 初期化	ローカル データ 初期化	#	IPコードレス電話機独自に登録したデータ を初期化します。	—	—



お知らせ

- 登録されている設定内容は別にメモを取るか、設定ソフトウェアの設定内容保存・更新（☛Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション取扱説明書）で保存をしてください。

無線LANとネットワークの設定をするには

IPコードレス電話機をご使用になるためには、ネットコミュニティシステム 無線アクセスポイント (a/b/g) と接続する必要があります。接続するために、Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) およびネットコミュニティシステム αGX typeLに合わせて以下の設定をします。

・SSID ・暗号化タイプ ・暗号キー ・IPアドレス

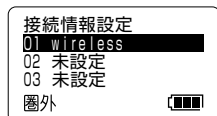
Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) との接続は、自動登録で行うこともできます。(☛P122)

また、設定ソフトウェアを使用して簡単に設定することもできます。(☛Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション取扱説明書)

接続情報を設定する

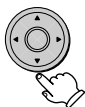
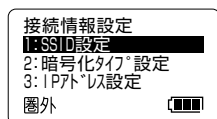
- 1** 待ち受け状態で、**Y** ボタン、**3** の順に押す。

「接続情報設定」画面が表示されます。



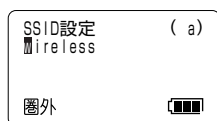
- 2** 上下左右ボタンで項目を選択し、決定ボタンを押す。

<例> 「01 wireless」を選択した場合



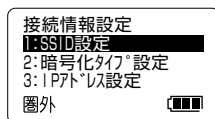
- 3** 上下ボタンで「SSID設定」を選択し、決定ボタンを押す。

「SSID設定」画面が表示されます。



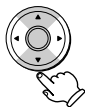
- 4** SSIDを入力し、決定ボタンを押す。

半角32文字まで入力することができます。決定ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。



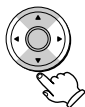
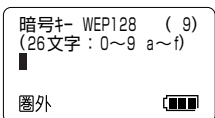
- 5** 上下ボタンで「暗号化タイプ設定」を選択し、決定ボタンを押す。

「暗号化タイプ設定」画面が表示されます。



- 6** 上下ボタンで暗号化タイプを選択し、決定ボタンを押す。


<例> 「WEP128BIT」を選択した場合




ワンポイント

- 使用できる暗号化タイプは次の2種類の暗号化タイプが使用できます。
 - ・ WEP64bit
 - ・ WEP128bit

7 暗号キーを入力し、決定ボタンを押す。

 ボタンを押し、ひとつ前の画面に戻ります。

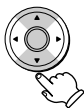
接続情報設定
1:SSID設定
2:暗号化タイプ設定
3:IPアドレス設定
圏外 



8 上下ボタンで「IPアドレス設定」を選択し、決定ボタンを押す。


「IPアドレス設定」画面が表示されます。

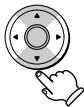
IPアドレス設定
1:DHCP ON
2:DHCP OFF
圏外 



9 上下ボタンでDHCPの設定を選択し、決定ボタンを押す。


< 「DHCP ON」を選択した場合 >

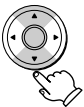
DHCP ON
192.168.001.100
圏外 



決定ボタンを押し、手順13へ進みます。


< 「DHCP OFF」を選択した場合 >

DHCP OFF
192.168.001.100
圏外 




手順10へ進みます。

10 IPアドレスを入力し、決定ボタンを押す。

サブネットマスク
255.255.255.000
圏外 




11 サブネットマスクを入力し、決定ボタンを押す。

デフォルトゲートウェイ
000.000.000.000
圏外 




12 デフォルトゲートウェイを入力し、決定ボタンを押す。


デフォルトゲートウェイ2
000.000.000.000
圏外 



13 デフォルトゲートウェイ2を入力し、決定ボタンを押す。

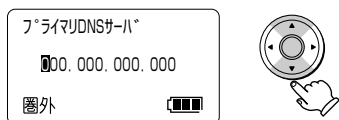
 ボタンを押し、ひとつ前の画面に戻ります。

DNSサーバの設定が必要な場合は、手順14へ進んでください。設定しない場合は、手順17へ進みます。

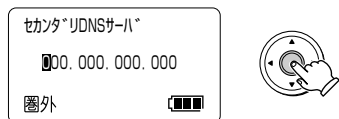
接続情報設定
1:SSID設定
2:暗号化タイプ設定
3:IPアドレス設定
圏外 



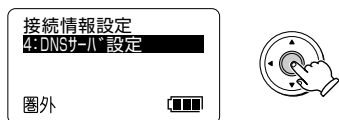
- 14** 上下ボタンで「DNSサーバ設定」を選択し、決定ボタンを押す。
「プライマリDNSサーバ」設定画面が表示されます。




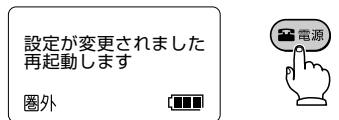
- 15** プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力し、決定ボタンを押す。



- 16** セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力し、決定ボタンを押す。



- 17**  ボタンを押す。
メッセージが表示され、約5秒後に、IPアドレス電話機が再起動し、無線LANとネットワークの設定が保存されます。



ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)



お知らせ

- SSIDの初期値は「wireless」になっています。
- 接続情報は最大20個まで登録できます。
- IPアドレス設定の初期値は、自動的に取得する（「DHCP ON」）設定になっています。
- 固定IPアドレスを使用している場合は同一ネットワークのIPアドレスを設定してください。
- IPアドレスなどのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 設定内容を変更した場合、電話やメールが使用できなくなる場合があります。

スキャンチャンネルを設定する

IPコードレス電話機と無線アクセスポイント(a/b/g)を接続するためには、IPコードレス電話機のスキャンチャンネルを無線アクセスポイント(a/b/g)で使用しているチャンネル周波数に合わせる必要があります。

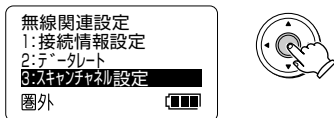
1 待ち受け状態で、 ボタン、

 の順に押す。

「スキャンチャンネル設定」画面が表示されます。



2 スキャンチャンネルを入力し、決定ボタンを押す。



3 ボタンを押す。

スキャンチャンネル設定が保存され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 使用できるチャンネルは
使用できるチャンネルは1チャンネルから13チャンネルまでです。
- 連続したチャンネルを入力するときは
チャンネル1からチャンネル5までを設定する場合は、「1#5」と入力してください。
- 個別のチャンネルを入力するときは
チャンネル1、チャンネル6、チャンネル11を設定する場合は「1*6*11」と入力してください。
- 無線アクセスポイント(a/b/g)の使用しているチャンネルを確認する場合は
Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント(a/b/g)・無線ステーション取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 接続したい無線アクセスポイント(a/b/g)のチャンネルをすべて設定する必要があります。

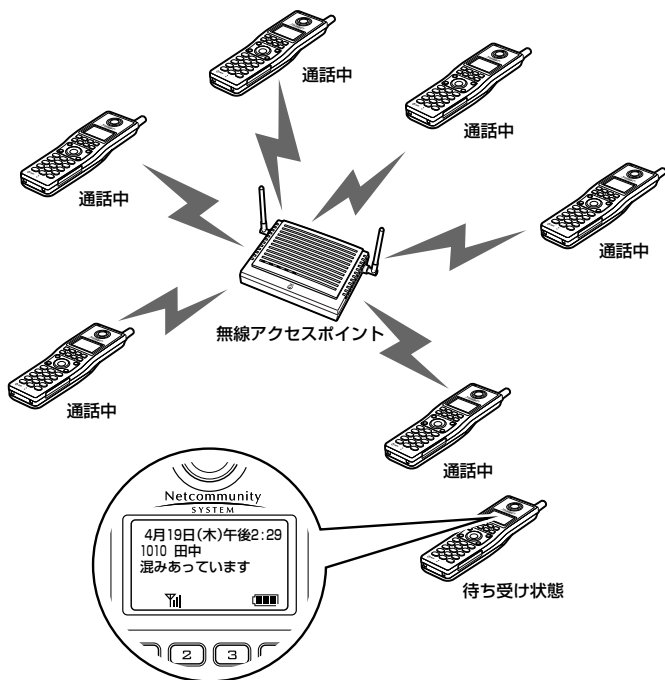
同時に通話できるIPコードレス電話機の台数を制限するには

1台の無線アクセスポイントで、IPコードレス電話機と無線LAN対応携帯電話機合わせて最大6台まで同時に通話することが可能ですが、設置環境、電波状況によっては6台で通話ができなかったり、通話品質が悪くなったりする場合があります。無線アクセスポイントで「最大通話数」を設定すると、1台の無線アクセスポイントで同時に通話できる電話機の数制限をすることができ、制限した台数までの通話を確保し、通話品質が悪くなるのを防ぐことができます。

最大通話数を設定する

設定方法は、「Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション取扱説明書」を参照してください。

「最大通話数」を設定した場合、設定した台数の通話を超えると、IPコードレス電話機のディスプレイに「混みあっています」と表示されます。この状態では、電話をかけたり受けたりすることはできません。

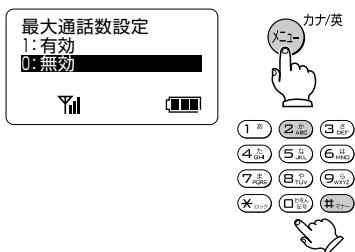


最大通話数の設定を有効にする

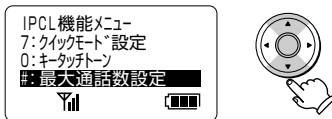
Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) で最大通話数の設定をした場合 (P120) は、最大通話数制御を有効にする必要があります。お買い求め時は、「無効」に設定されています。

1 待ち受け状態で、 ボタン、 の順に押す。

「最大通話数設定」画面が表示されます。

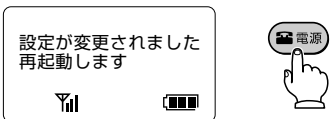


2 上下ボタンで「有効」を選択し、決定ボタンを押す。





3 ボタンを押す。

メッセージが表示され、約5秒後にIPコードレス電話機が再起動し、最大通話数の設定が保存されます。



お知らせ

- 外から電話がかかってきたときや別の電話機が保留にしているときなどは、外線ランプは通常どおりに表示しますが、応答することはできません。
- 外線ボタンや  ボタンを押してダイヤルボタンを押しているときや、呼出音が鳴っているときに最大通話数になった場合は、お話し中となり、通話をすることができません。
- プリセットダイヤルで電話番号を入力しているときに最大通話数になった場合は、プリセットダイヤルが継続されます。ただし、発信操作を行ったときには発信できません。
- 個別保留しているときは、外線ボタン、もしくは  ボタンを押すと通話に戻れます。
- 設置環境や電波状況によっては、設定した最大通話数以上の通話が可能場合があります。
- 通話をしていない無線LAN対応携帯電話機は圏外となり、使用できなくなります。
- 「混みあっています」の表示は、通話している電話機が最大通話数以下になっても約20秒間続きます。
- 本機能をご利用になるには、最大通話数を有効にする設定が必要です。(P120)

お知らせ

- 最大通話数設定は、電源を切っても保持されます。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) と設定を合わせてください。IPコードレス電話機で通話ができなくなります。

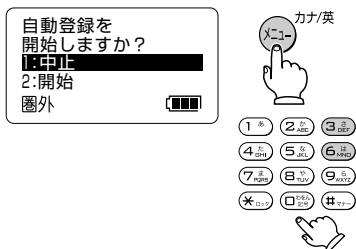
無線LANとネットワークの設定を自動で行うには

Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) と接続するための設定を自動で簡単に行うことができます。また、設定ソフトウェアを使用しても簡単に設定することができます。(●Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション取扱説明書)

無線アクセスポイントに自動登録する

1 待ち受け状態で、(X)ボタン、(3)DEF (6)MNC の順に押す。

「自動登録を開始しますか?」と表示されます。



2 上下ボタンで「開始」を選択し、決定ボタンを押す。

自動登録が開始されます。終了すると、自動的に再起動します。



ワンポイント

- 自動登録を途中で停止するには
IPコードレス電話機の電源を切ってください。
(●P24)

お知らせ

- 自動登録ではIPコードレス電話機のIPアドレスは「DHCP ON」に設定されます。固定IPアドレスを利用する場合は、IPコードレス電話機のIPアドレスの設定を行ってください。
- Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) のSSID、暗号キーの設定を変更せずに、IPコードレス電話機と自動登録で接続を行うと、SSIDが正確に表示されない場合があります。この場合は設定ソフトウェアで確認してください。
- 自動登録ではIPコードレス電話機のスキャンチャンネルの設定は変更されません。接続する無線アクセスポイントのチャンネルに合わせて設定してください。
- Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g)、設定ソフトウェアの操作方法については、Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション取扱説明書をご覧ください。
- 複数の無線アクセスポイントが設置されている場合で、IPコードレス電話機に複数の接続情報が設定されている場合は、自動登録したNetcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) に接続しない場合があります。
- 自動登録中は、Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) に接続しているすべての電話機が一時的に利用できなくなります。
- 自動登録が失敗した場合、IPコードレス電話機は再起動を行います。

eメールをご利用になる前に

IPコードレス電話機はeメールサービスをご利用になれます。eメールサービスをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

- ・eメールサービスの契約はIPコードレス電話機ごとが必要です。契約の方法については、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

eメールをご利用になるために必要な設定は、下記のとおりです。
設定されていない場合は、eメールをご利用になれません。

ユーザ情報	名前
	電子メールアドレス
サーバ情報 (IPアドレス)	受信メール (POP)
	送信メール (SMTP)
受信メールサーバ	アカウント名
	パスワード
サーバのポート番号	受信メール (POP)
	送信メール (SMTP)

無線LANとネットワークの設定を自動で行うには






お知らせ

- 設定値は、プロバイダと契約した内容を設定してください。または、ネットワーク管理者にご確認ください。
- サーバ情報は、IPアドレスでも設定できます。
- 間違えて設定された場合、ご利用になれません。
- 添付ファイルは削除されます。添付ファイルを削除したくない場合は、サーバメッセージ保存設定で「受信後サーバに残す」に設定してください。(P132)
- 添付ファイルは、添付ファイルを受信できる機器（パソコン等）で受信してください。
- 添付ファイルつきメールや、HTMLメールには対応していません。添付ファイルつきメールや、HTMLメールを受信した場合は、宛先と件名のみが表示されます。

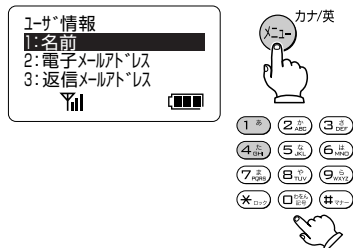
eメールを設定するには

eメールサービスをご利用になるには、「ユーザ情報」、「サーバ情報」、「アカウント名とパスワード」、「サーバのポート番号」を設定する必要があります。

ユーザ情報を設定する

- 1 待ち受け状態で  ボタン、
  の順に押す。

「ユーザ情報」画面が表示されます。

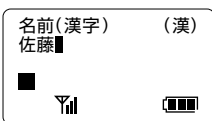


- 2 「名前」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 3 名前を入力する。
全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

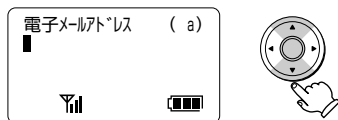
<例> 「佐藤」と入力した場合



- 4 決定ボタンを押す。
「ユーザ情報」画面に戻ります。



- 5 上下ボタンで「電子メールアドレス」を選択し、決定ボタンを押す。



- 6 メールアドレスを入力する。
半角64文字まで入力することができます。

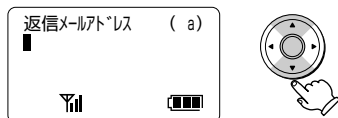
<例> 「sato123@example.com」と入力した場合



- 7 決定ボタンを押す。
「ユーザ情報」画面に戻ります。
送信するメッセージの返信先を手順6とは別のメールアドレスに設定する場合は、手順8へ進んでください。設定しない場合は、手順11へ進みます。



- 8 上下ボタンで「返信メールアドレス」を選択し、決定ボタンを押す。



9 返信メールアドレスを入力する。

半角64文字まで入力することができます。

<例>「sato123@example.com」
と入力した場合



10 決定ボタンを押す。

「ユーザ情報」画面に戻ります。



11 電源ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 文字を入力するには (➡P58)



お知らせ

- eメールサービスの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- メールアドレスで入力できるのは、-._@_()*#SP (半角スペース) と半角英数字のみです。
- 入力データ (下段) が何もなしのときに **クリア** ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。
- 名前を半角で登録しても、送信先には全角で表示されます。

eメールを設定するには

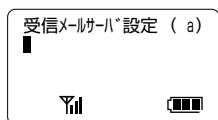
サーバ情報を設定する

- 1 待ち受け状態で ボタン、
④ ②

「サーバ情報」画面が表示されます。



- 2 「受信メール (POP)」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 3 受信メールサーバ名を入力する。
半角64文字まで入力することができます。

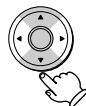
<例>「example.com」と入力した場合



- 4 決定ボタンを押す。
「サーバ情報」画面に戻ります。



- 5 上下ボタンで「送信メール (SMTP)」を選択し、決定ボタンを押す。



- 6 送信メールサーバ名を入力する。
半角64文字まで入力することができます。

<例>「example.com」と入力した場合



- 7 決定ボタンを押す。
「サーバ情報」画面に戻ります。



- 8 ボタンを押す。
サーバ情報が保存され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)

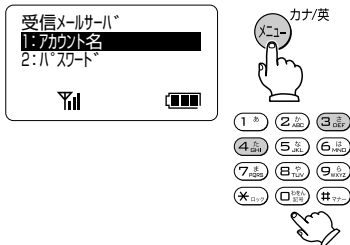
お知らせ

- eメールサービスの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 受信メールサーバ、送信メールサーバの設定は、IPアドレス形式、ドメイン形式のどちらでも可能です。
- 入力データが何も無いときに ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。

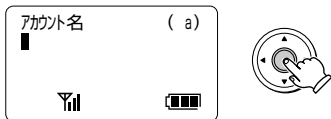
アカウント名とパスワードを設定する

1 待ち受け状態で **(X)C** ボタン、**(4)** **(3)** の順に押す。

「受信メールサーバ」画面が表示されます。

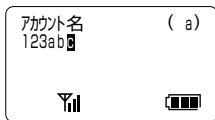


2 「アカウント名」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

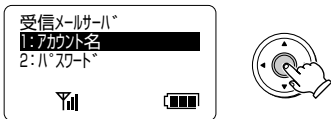


3 アカウント名を入力する。
半角64文字まで入力することができます。

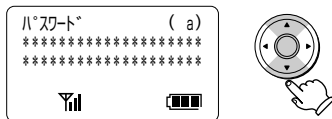
<例> 「123abc」と入力した場合



4 決定ボタンを押す。
「受信メールサーバ」画面に戻ります。



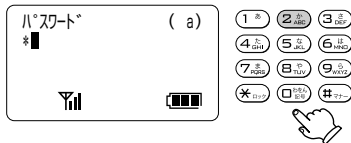
5 上下ボタンで「パスワード」を選択し、決定ボタンを押す。



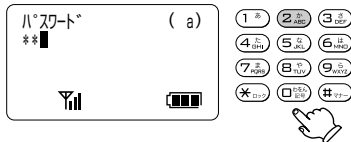
6 パスワードを入力する。
半角40文字まで入力することができます。

<例> 「abcd」と入力した場合

① **(2)** ボタン、決定ボタンの順に押す。

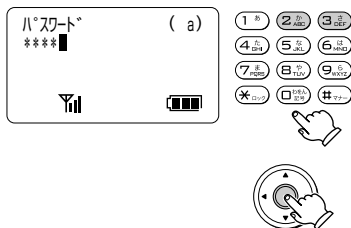


② **(2)** ボタンを2回、決定ボタンの順に押す。



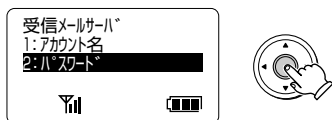
eメールを設定するには

- ③ 手順①②と同様に「c」と「d」を入力し、決定ボタンを押す。



7 決定ボタンを押す。

「受信メールサーバ」画面に戻ります。



8 電源ボタンを押す。

受信メールサーバの設定が保存され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 文字を入力するには (P58)



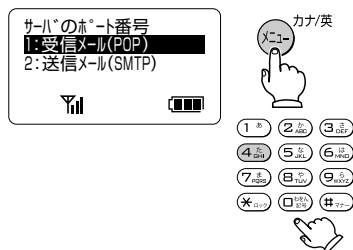
お知らせ

- eメールサービスの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- アカウント名の変更を行った場合、送信メールと受信メールは全部削除されます。ただし、設定ソフトウェアで変更したときは削除されません。
- 入力データが何もなしに「クリア」ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。

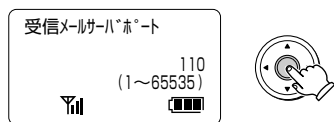
サーバのポート番号を設定する

- 1** 待ち受け状態で **X-C** ボタン、**4** の順に押す。

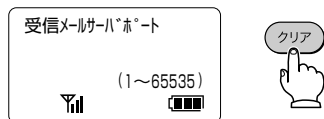
「サーバのポート番号」画面が表示されます。



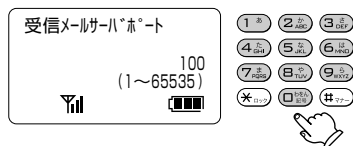
- 2** 「受信メール (POP)」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 3** **クリア** ボタンを押す。



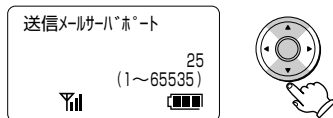
- 4** ポート番号を入力する。
 <例> 「100」と入力した場合



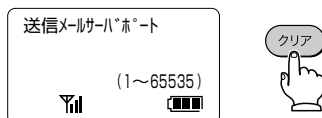
- 5** 決定ボタンを押す。
 「サーバのポート番号」画面に戻ります。



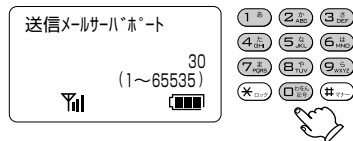
- 6** 上下ボタンで「送信メール (SMTP)」を選択し、決定ボタンを押す。



- 7** **クリア** ボタンを押す。



- 8** ポート番号を入力する。
 <例> 「30」と入力した場合



9 決定ボタンを押す。

「サーバのポート番号」画面に戻ります。



10 電源ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- 入力間違いのときや変更するときは

クリア ボタンを押すと、ポート番号が削除されます。



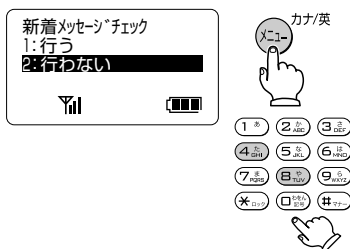
お知らせ

- eメールサービスの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 入力データが何もなしに **クリア** ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。

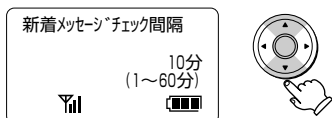
新着メッセージのチェック間隔を設定するには

IPコードレス電話機が、メールサーバにメールの有無を自動でチェックするかどうかと、自動でチェックする間隔を設定することができます。

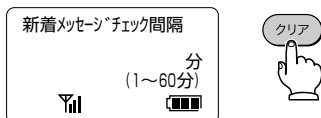
- 1** 待ち受け状態で **メニュー** ボタン、**4** の順に押す。
「新着メッセージチェック」画面が表示されます。



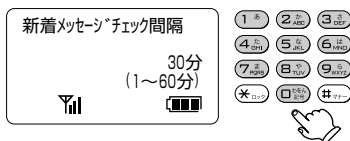
- 2** 上下ボタンで「行う」を選択し、決定ボタンを押す。



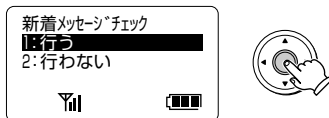
- 3** **クリア** ボタンを押す。



- 4** チェック間隔を入力する。
<例> 「30」分を入力した場合



- 5** 決定ボタンを押す。
「新着メッセージチェック」画面に戻ります。



- 6** **電源** ボタンを押す。
新着メッセージチェックの設定が保存され、待ち受け状態に戻ります。



新着メッセージのチェック間隔を設定するには
eメールを設定するには

ワンポイント

- 入力間違えたときは
クリア ボタンを押すと、時間が削除されます。

お知らせ

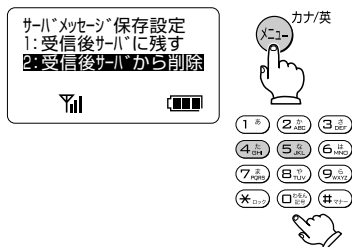
- IPコードレス電話機を起動したときには、新着メッセージチェックの設定にかかわらず、新着メッセージのチェックを行います。
- 無線アクセスポイントへ接続していないときや、メールの保存件数が100件になったときは、新着メッセージのチェックは行いません。
- 新着メッセージチェックを「行う」に設定している場合、操作中の動作が遅くなることがあります。

サーバメッセージ保存設定

IPコードレス電話機でメールを受信したあとも、メールサーバからメールを削除せずに保存しておくことができます。

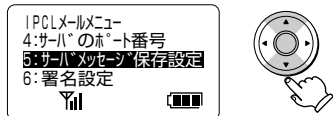
1 待ち受け状態で ボタン、 の順に押す。

「サーバメッセージ保存設定」画面が表示されます。



2 上下ボタンで「受信後サーバに残す」を選択し、決定ボタンを押す。

サーバメッセージ保存設定が保存され、「IPCLメールメニュー」画面に戻ります。



3 ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

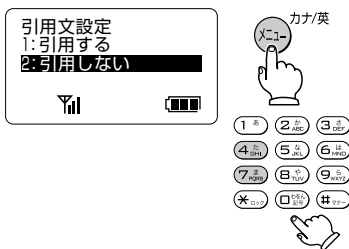
- サーバメッセージ保存設定を「受信後サーバに残す」に設定した場合、メールサーバの容量がいっぱいになると、メールを受信できなくなることがあります。
- サーバメッセージ保存設定を「受信後サーバに残す」に設定にした場合、メールサーバに1000件まで残すことができます。それ以上メールを残したまま使用すると、一度受信したメールを再度受信する場合があります。このときはサーバからメールを削除してください。

引用文設定

引用文設定をすると、返信するときに、本文を引用することができます。

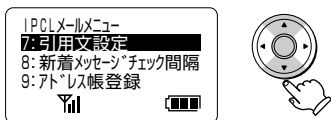
- 1** 待ち受け状態で **X** ボタン、
4 の順に押す。

「引用文設定」画面が表示されます。



- 2** 上下ボタンで「引用する」を選択し、
 決定ボタンを押す。

引用文設定が保存され、「IPCLメールメニュー」画面に戻ります。



- 3** **電源** ボタンを押す。
 待ち受け状態に戻ります。




お知らせ

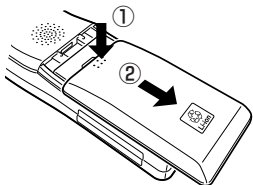
- 転送するときは引用文設定に関わらず、本文が引用されます。

電池パックの取り扱い

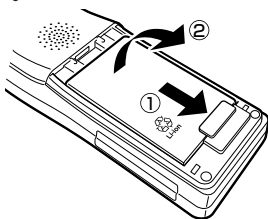
電池パックは消耗品です。電話機の使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。なお、ご購入についてはパーツサービスセンター ☎0120-86-8289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■電池パックを交換する

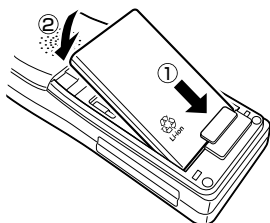
- 1 電源を切ります。
電源が入っているときは、 ボタンを2秒以上押してから離し、本体の電源を切ります。
- 2 突起部を押しながら (1)、電池カバーを手前にスライドさせて (2) 取り外す。



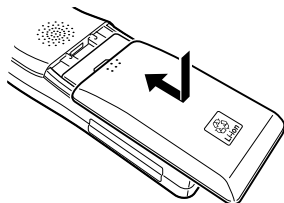
- 3 電池パックを下側に押しながら (1)、手前側に起こして (2) 取り出す。



- 4 新しい電池パックを下部の電極に押し当てながら (1)、電話機にセットする (2)。
電池パックの印刷面が表になるようにセットしてください。



- 5 電池カバーを取り付ける。



- 6 充電台に置き、6時間以上充電する。



お知らせ

- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- USBケーブルを取り付けたままでは、電源を切ることはできません。USBケーブルを取り外してから電源を切ってください。
- 電話機を充電器に置いたままでは、電源を切ることはできません。電話機を充電台から取り上げて電源を切ってください。

⚠ 危険

- 電池パックについて
電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
 - ・ 必ず専用のものをお使いください。
 - ・ 取り出して充電しないでください。
 - ・ 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
 - ・ 充電には、専用の充電台をお使いください。
 - ・ 端子を短絡させないでください。


■電池パック回収のお願い



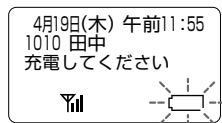
電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

電池の残量がなくなったときは


電池の残量がなくなったときは、電話機を充電してください。

電池がなくなると「ピー」という電池残量警報音が鳴り、液晶ディスプレイの  マークが点滅する。

通話中の場合は、すみやかに通話を終わらせて電話機を充電してください。(●P25)



お知らせ

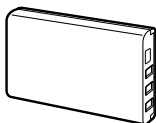
- 通話中に警報音になった場合、そのまま通話を続けると、約1分以内に電池がなくなり、通話が切れてしまいますのでご注意ください（電池パックの状態や周囲の温度などによってはさらに短い時間で電池がなくなる場合もあります）。
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、液晶ディスプレイの  マークでまだ電池が残っているように見えても、IPコードレス電話機を使用するとすぐに電池残量警報音が鳴ることがあります。

オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

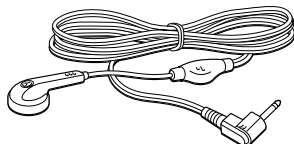
■電池パック (カナ品名： デンチパック-095)

IPコードレス電話機の電池パックを交換するとき
は、オプションの電池パックをご利用ください。



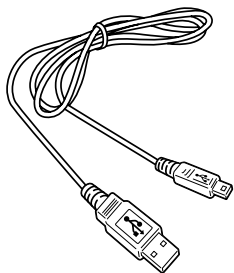
■ヘッドセット (カナ品名： CT-ヘッドセット-039)

IPコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続
すると、両手を自由に使いながら通話ができます。



■USBケーブル (市販品：A-ミニBタイプ)

パソコンと接続すると、設定ソフトウェアを利用
することができます。
また、接続したパソコンや給電タイプのUSBハ
ブから充電することもできます。



■設定ソフトウェア (GX-IPCL-PS トリセツ-<2>)

IPコードレス電話機をパソコンとUSBケーブル
で接続し、パソコンから電話帳や電話機設定を設
定することができます。

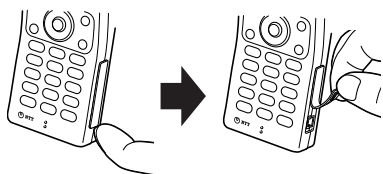
● お知らせ

- ヘッドセットのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと奥まで差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。
- IPコードレス電話機のドライバのインストールを行っていない場合、USBケーブルをIPコードレス電話機に差し込むと、パソコンの画面上にポップアップメニュー「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されません。
- USBケーブルを差したままでは電源を切ることができません。USBケーブルを外してから電源を切ってください。

■USB差込口とイヤホンマイク差込口の使いかた

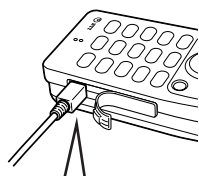
- 1** コネクタカバーを外す。
コネクタカバーの上端、または下端のくぼみに爪を掛けて外します。

<例>USB差込口側のコネクタカバーを外す場合

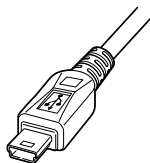


- 2** USBケーブル、またはヘッドセットを接続して使用する。

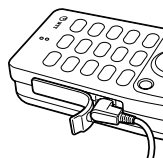
- USBケーブルを取り付ける場合



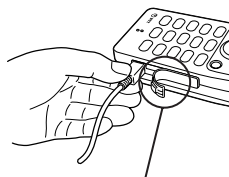
USBケーブルはA-ミニBタイプのコネクタが接続できます。



- ヘッドセットを取り付ける場合

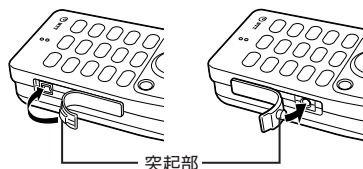


- USBケーブル、またはヘッドセットを取り外すときは



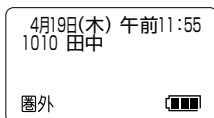
コネクタといっしょにコネクタカバーを引き抜かないように注意してください。

- 3** コネクタカバーを戻す。
USB差込口またはイヤホンマイク差込口に、コネクタカバー内側の突起部を合わせて押し込みます。




通話できる範囲から外れたときは（圏外）

IPコードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは、画面に「圏外」の文字が表示されます。このときは、通話できる範囲まで移動してください。



■待ち受け中や電話をかけようとしたとき

お話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの圏外が表示されます。圏外が消えて  が表示される場所まで移動して、おかけ直してください。（●P26）

あらかじめ、IPコードレス電話機で電話をかけて、無線アクセスポイントからの電波の弱い場所を確認しておくことをお勧めします。なるべく電波の強い場所でご使用ください。

■お話し中のとき

お話しできる範囲から外れると、「ピー…ピー…」という警報音が鳴ります。または、相手の声が聞こえなくなります。電波の強い場所まで移動してください。（●P26）

■着信中のとき

着信中にお話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの圏外が表示され、着信に応答することができません。お近くの別の内線電話機で応答してください。



お知らせ

- お話し中に圏外になったときは、警報音が鳴ったあと、電話が切れることがありますのでご注意ください。
- コンクリートパネルで仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 警報音が鳴っているときは、お話しすることができません。

各種機能を利用するための特番一覧

以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。それぞれの特番は、主装置の「システム設定」により変更ができます。

● ダイヤル中特番

「ツーツー・・・」という内線発信音がしているときに、それぞれの特番を押して操作します。

名 称	機 能	番 号
再ダイヤル用の特番	同じ相手にかけ直す	9 (9) []
電話帳ダイヤル発信用の特番	電話帳ダイヤルで電話をかける	9 (9) 1 (1) []
他電話機電話帳ダイヤル確認用の特番	他の電話機の個別電話帳ダイヤルを確認する	9 (9) 4 (4) []
フッキングパルス送出用の特番	ネットコミュニティシステムαGX typeL以外に接続された内線電話機に転送する	9 (9) 1 (1) 6 (6) []
不在着信転送用の特番	不在着信転送を登録／解除する	9 (9) 2 (2) 2 (2) []
パーク保留解除用の特番	同一パーク保留ボタンを設定した電話機の保留を解除する	9 (9) 4 (4) 0 (0) []
パーク保留用の特番	パーク保留する	9 (9) 4 (4) 5 (5) []
パーク保留応答用の特番	パーク保留中の内線／外線に応答する	9 (9) 4 (4) 6 (6) []
Webデータ設定禁止用の特番	操作中の電話機がWebデータ設定によって設定変更されることを禁止する	9 (9) 5 (5) 6 (6) []
Webデータ設定許可用の特番	操作中の電話機がWebデータ設定によって設定変更されることを許可する	9 (9) 5 (5) 7 (7) []
外線発信用の特番	空いている外線を選んで電話をかける	0 (0) []

各種機能を利用するための特番一覧
通話できる範囲から外れたときは

各種機能を利用するための特番一覧

名 称	機 能	番 号
自グループ代理応答用の特番	同一電話機グループ内の着信に応答する	[]
他グループ代理応答用の特番	他のグループの着信に応答する	1 []
指定代理応答用の特番	着信中の電話機を指定して応答する	2 []
特殊代理応答用の特番	ドアホンに応答する	3 []
統合代理応答用の特番	ドアホン、同一電話機グループ内の着信および他電話機グループ内の着信に応答する	[]
外線群指定発信用の特番※	自動発信可能な外線を選んで電話をかける	[]
事業者識別番号自動付与解除用の特番	一時的に事業者識別番号の自動付与を解除する	

※外線群指定発信用の特番は、お買い求め時には設定されていません。

● 機能特番

決定ボタンを2秒以上押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名 称	機 能	番 号
会議招集用の特番	内線または外線で会議通話を招集する	決定ボタン(2秒) + 1 []
口頭招集用の特番	口頭で会議通話を招集する	決定ボタン(2秒) + 1 []
着信履歴表示用の特番	着信情報記録を表示し、折り返し電話する	決定ボタン(2秒) + 4 3 []
信号/音声呼出切替用の特番	内線の呼出方法を変える	決定ボタン(2秒) + 5 7 []
キーパッド送出モード切替用の特番	キーパッドの送出モードを切り替える	決定ボタン(2秒) + []

● 設定特番

内線ボタン、決定ボタンの順に押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名称	機能	番号
不在着信転送用の特番	不在着信転送を登録／解除する	内線 ボタン+決定ボタン+ 4 _た (SH) 2 _か (MR) []
ワンショットアラーム用の特番	ワンショットアラームを設定／解除／確認する	内線 ボタン+決定ボタン+ 6 _は (MR) 0 _ひ (SA) []
デイリーアラーム用の特番	デイリーアラームを設定／解除／確認する	内線 ボタン+決定ボタン+ 6 _は (MR) 1 _あ []
着信音色切替用の特番	着信音の音色を切り替える	内線 ボタン+決定ボタン+ 6 _は (MR) 4 _た (SH) []
着信履歴全件削除の特番	着信履歴を全件数削除する	内線 ボタン+決定ボタン+ 6 _は (MR) 5 _な (SL) []
着信拒否用の特番	内線、外線の着信音が鳴らないようにする	内線 ボタン+決定ボタン+ 7 _ま (MR) 0 _ひ (SA) []
転送電話開始／解除用の特番	転送電話を開始／解除する	内線 ボタン+決定ボタン+ * _ロ (PP) 5 _な (SL) []

● 非ダイヤル中特番

「ツーツ…」という内線発信音がかしているとき以外に、それぞれの特番を押して操作します。

名称	機能	番号
信号／音声呼出切替用の特番	内線で呼び出し中に、内線の呼出方法を変える	0 _ひ (SA) []
話中呼出用の特番	お話し中の方を呼び出す	* _ロ (PP) []

こんな音がしたら

IPコードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口から聞こえる音

音	IPコードレス電話機の状態	音の意味
ツーツー… (内線発信音)	充電台から取りあげるか、 内線 ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せませす
ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
ブルブルブル…ブルブルブル (呼出音)	外線または内線で相手を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機や他のIPコードレス電話機などがお話し中のとき	お話し中です
ツ…ツ… (空きチャンネルがないとき)	無線アクセスポイントの空きチャンネルがないとき	他のIPコードレス電話機が無線アクセスポイントすべてのチャンネルを使っています

●スピーカ口から聞こえる音

音	IPコードレス電話機の状態	音の意味
ピー…ピー…ピー (圏外警報音)	通話中にお話しできる範囲から外れたとき	無線アクセスポイントに近づいてください
ピー (電池残量警報音)	電池残量が規定値以下になったとき	充電台に置いて充電してください
ビビビビ…ビビビビ… (内線着信音)	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています
ビビビビビビビビ… (外線着信音)	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
ピッ (キータッチトーン)	ダイヤルボタンを押したとき	ダイヤルボタンが押されました

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	IPコードレス電話機の電源が入っていない	 ボタンを2秒以上押ししてください	▶P24
	電池切れになっている	充電してください	▶P25
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	▶P24
	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	▶P26
	停電のため	故障ではありません	▶P146
電話がかかけられない	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	▶P26
	キーロックが設定されている	キーロックを解除してください	▶P95
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	—
着信音が鳴らない	不在着信転送が設定されている	不在着信転送を解除してください	▶P52
	IPコードレス電話機の電源が入っていない	 ボタンを2秒以上押ししてください	▶P24
	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	▶P26
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	▶P8
	マナーモードに設定されている	マナーモードを解除してください	▶P94
通話が突然切れた	電波が届かないため	電波の届く場所に移動してかけ直してください	▶P23、P26
	電池残量が少なくなった	充電してください	▶P25
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	▶P26
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話してください	▶P26
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	▶P8
	無線アクセスポイントとの間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	▶P138
お話し中の相手の声が途切れる	IPコードレス電話機から送信される電波の強さが、受信する電波より弱いため	お話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話してください	▶P26

故障かな？と思ったら
こんな音がしたら

(次ページにつづく)

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	●P27
	受話口に耳がきちんと当たっていない	耳をきちんと受話口に当ててください	—
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定している	受話音量を下げてみてください	●P27
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	—
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	●P28
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定している	着信音量を下げてみてください	●P28
充電台に置いても充電ランプが点灯しない	充電台の電源アダプタがコンセントから外れている	電源アダプタをきちんとコンセントへ差し込んでください	●P25
	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	●P25
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	●P24
	電源アダプタの電源コードが傷んでいる	電源アダプタをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください	—
充電ランプが点滅する	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	●P25
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	●P24
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	●P134
	周囲の温度が5℃以下や35℃以上の環境で使用している	充電は周囲の温度が5～35℃の間で行ってください	●P25
6時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	●P25
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	●P134
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	●P23、P25

■ IPコードレスの液晶LCDに表示されるエラーコードについて

下記以外のエラーコードが表示された場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

エラーコード	エラー内容	対処
002	IPアドレスが正常に設定されていません。	無線アクセスポイントとの接続を確かめてください。 無線アクセスポイントが接続されているネットワークの状況を確認してください。 IPコードレスのIPアドレスが設定されているか、確認してください。
003 004 005 006	主装置との通信ができていません。	無線アクセスポイントとの接続を確かめてください。 無線アクセスポイントが接続されているネットワークの状況を確認してください。

■ 設定ソフトウェアで設定できない

こんなときは		確認してください	参照ページ
設定画面が起動しない	IPコードレス設定 (USB 接続)	<ul style="list-style-type: none"> ● IPコードレス電話機が使用中には設定できません。IPコードレス電話機が待ち受け状態のときに操作してください。 ● パソコンと通信できていません。設定ソフトウェアの環境設定でシリアル通信ポート設定を確認してください。 	—
	アドレス帳の編集画面が表示されない	● IPコードレス電話機で操作を行うと通信が切断されてしまいます。	—
	無線設置データ設定画面が表示されない	● 無線装置 (LAN 接続) で設定する場合はFTPサーバが必須です。FTPサーバが起動しているか確認してください。	
	メール設定が表示されない	● 環境設定のFTP設定を確認してください。	
	設定内容保存・更新ができない		
	バージョンアップができない		
	IPCL 動作設定画面が表示されない		
設定できない		<ul style="list-style-type: none"> ● 設定できる項目毎に入力制限があります。 ● 無線装置 (LAN 接続) で設定する場合はFTPサーバが必須です。FTPサーバが起動しているか確認してください。 	—

停電になったとき

停電中は、無線アクセスポイントの電源が切れてしまうため、IPコードレス電話機を使用することはできません。

●停電になったときは



外の相手の方とお話し中	通話は切れます
保留中	保留中が解除され、電話は切れます
内線通話中	通話は切れます

アルファベット

- Bluetooth** …… ノートパソコンや携帯電話を用いて、数メートルの距離でケーブルを使わずにデータのやり取りを行う無線通信の技術の一つです。
- DIL着信** …… 外線着信時に、外線ごとに「システム設定」された内線番号を呼び出せる機能のことです。
- DP回線** …… ダイアル回線（パルス回線）のことです。
- IEEE 802.11b** …… IEEE（米国電気電子学会）の802委員会が定めた無線LANの規格の一つです。2.4GHzの無線周波数帯域（無線免許なしで使用可能）を利用して、約11Mbpsの速度で通信を行います。
- INSネット64** …… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャンネル（B）2本、信号チャンネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
- INSネット1500** …… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャンネル（B）23本、信号チャンネル（D）1本を同時に、または、情報チャンネル（B）24本として利用できるサービスです。
- IP電話サービス** …… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。音声とデータの回線を統合することにより、ネットワーク管理コストを削減できます。
- ISDN回線** …… デジタル回線のことです。
- PB回線** …… プッシュ回線（トーン回線）のことです。
- POP** …… Post Office Protocolの略で、インターネットなどで電子メールが保存されているサーバから受信するためのプロトコル（コンピュータどうしが通信するための規約）です。
- SMTP** …… Simple Mail Transfer Protocolの略で、インターネットなどでサーバに電子メールを送信するためのプロトコル（コンピュータどうしが通信するための規約）です。

五十音

【ア行】

- 空き外線** …… 使用していない外線で、発信・着信ができる外線のことです。
- オフフック** …… ハンドセットを上げることです。IPコードレス電話機では、 ボタンを押すこと、またはクイックモードが設定されているときに電話機を充電台から取りあげることです。
- オンフック** …… ハンドセットを置くことです。IPコードレス電話機では、 ボタンを押すこと、またはクイックモードが設定されているときに電話機を充電台に置くことです。

【カ行】

- 外線捕捉** …… 「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といえます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
- 拡張内線** …… 電話機の内線番号とは別の仮想的な内線番号を、回線ボタンに割り付けて（拡張内線ボタン）、同じ拡張内線ボタンを割り付けた電話機を同時に呼び出すことができます。
- クリアコール** …… 内線呼出中または相手の方がお話し中のとき、以前に押した内線番号の下1桁または下2桁を入力数字に置き替える機能のことです。
- 口頭転送** …… 通話中の相手を保留し、転送先の相手を口頭で呼んで転送することです。
- 個別着信** …… ダイヤルイン着信などで、着信先が個別となることです。

【サ行】

- 索線ボタン** …… 指定された外線グループ中の空き外線を捕捉し、着信表示・応答、個別保留ができるように割り付けられた回線ボタンのことです。
- サブアドレス** …… INSネット64/1500を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことです。
- システム管理者** …… 「システム設定」によって、システム設定のうちの一部を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー設定の「システム一括設定」を操作することができます。ただし、IPコードレス電話機はシステム管理者には設定できません。
- システム設定** …… あらかじめいろいろな機能について設置時に設定することです。
- 自動着信呼分配** …… 複数の相手の方から一斉に電話を受ける場合に、効率よく受けることのできる機能です。
- 切断再捕捉** …… 外線ダイヤル中や通話中に、切断後、同一外線を再捕捉する機能です。

【タ行】



- ダイヤルインサービス** …… 外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。
- 代理応答** …… 他の端末への着信に応答できる機能のことです。
- 着信音** …… 電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。
- 追加ダイヤル** …… 発信履歴ダイヤル、着信履歴ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルなどにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。ただし、ISDN回線では追加ダイヤルを行うことはできません。

- デジタル回線 ……ISDN回線、TDM専用線、およびIP専用線のことで
テナント ……電話機グループと外線グループから構成されるグループのこ
とです。
転送電話機能 ……外線通話中の相手を別の外線へ転送することです。
電話機グループ ……電話機（端末など）から構成されるグループのことです。

【ナ行】

- 外線ダイレクトコール ……電話機の外線ボタンに内線番号を設定し、外線ボタンを押すこ
とによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。
外線捕捉 ……「ツーツー…」という内線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の
状態といいます。
この状態のときに他の内線電話機を呼び出すことができます。
ナンバー・ディスプレイ ……電話をかけた相手の方の電話番号が受信側のディスプレイに表
示されるサービスです。

【ハ行】

- パーク保留 ……通話中にパーク保留ボタン（外線ボタンに割り付ける）を押す
ことにより、通話相手を保留し、任意の電話機（端末）から保
留解除ができる機能です。
発信アドレス ……発信時に使用する回線の回線番号のことです。
フッキング ……外線を一時的に解放することです。
プリセットダイヤル ……オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕
捉をして発信する機能のことです。
プリセクション ……オンフック状態で外線ボタンまたは  ボタンを押し、
ボタンを押して回線を捕捉する機能です。
放送着信 ……グループ内のすべての端末を呼び出すことです。
ホットライン ……電話機ごとに呼出先の電話番号／内線番号を設定し、オフフ
ック状態にすることで特定の外線／内線を呼び出すことです。

【マ行】

- 無線LAN ……単に無線LANというと、「IEEE 802.11b」を指すことが一般
的です。「IEEE 802.11b」の説明を参照してください。
メニュー設定 ……内線電話機でのメニュー操作で、一部のシステム設定を行うこ
とです。

【ヤ行】

呼出状態転送 ……………通話中に相手を保留し、転送先の相手を呼び出したときに、相手が応答する前に転送することです。

数字・アルファベット

DHCP	117
DNSサーバ	118
eメール	100、112、123
引用文設定	133
ご利用になる前に	123
サーバメッセージ保存設定	132
削除する	107
作成して送信する	100
受信する	103
到着メッセージのチェック間隔設定	131
設定する	124
返信／転送	105
IPアドレス	115、117、123
Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g)・無線ステーション	120、122
PB	31
PBXなどに接続しているとき	111
Q&A	111
SSID	116
USBケーブル (A-ミニBタイプ)	136、137
USB差込口	18、137

五十音

【ア行】

空いている外線を選んで	
電話をかける	33、34
相手の方に待っていただく	40
アカウント名	127
空き外線自動捕捉	33
宛先	100
アドレス帳	54、82、103、112
アドレス帳ダイヤル	80
メモリ番号で検索してかける	54、80
読み仮名を検索してかける	54、81
暗号化タイプ	116
暗号キー	117
アンテナ	18

イヤホンマイク差込口	18、137
上ボタン (上下左右ボタン)	18
液晶ディスプレイ	18、20
液晶バックライト	19
同じパーク保留ボタンを設定した 電話機で取れるように保留する	42
オプション	136
オフフック外線自動捕捉	31、33、34
オフフック内線自動捕捉	33、34
音量	
受話音量を調節する	27
着信音量を調節する	28

【カ行】

外線群指定発信用特番	34
外線着信	35
外線発信	30
外線発信用特番	33
外線ボタン	18
外線ランプ	19
キータッチトーン	87
キーロック	95
共通電話帳	53、61、66
共通保留	40
共通保留転送	44
切／電源ボタン	18
緊急番号ダイヤル	31
クイックモード	97、111
クリアボタン	18
決定ボタン	18
圏外	26、138
件名	101
故障かな？と思ったら	143
コネクタカバー	137
個別転送	45
個別電話帳	53、61、66、71
個別保留	41
コントラスト設定	99
こんな音がしたら	142

【サ行】

サーバ情報	123、126
サーバのポート番号	123、129
最大通話数	120
最大通話数設定	121
サブアドレス	31
サブネットマスク	117
システム電話帳	53
下ボタン（上下左右ボタン）	18
自動転送	45
自動発信可能な外線の中から選ぶ	34
充電	
充電する	25
充電台	17
充電ランプ	18、19
受信メールサーバ	123
アカウント名	123、127
パスワード	123、127
受話口	18
準備	24
仕様	155
上下左右ボタン	18
省電力モード	98
署名	109
スキャンチャンネル設定	119
スピーカ口	18
設置について	4、7、8
設定ソフトウェア	136
設定できる機能の一覧	113
送話口	18
即時発信	31

【タ行】

ダイヤルボタン	18
ダイヤルライト	19
代理応答	37
着信	
着信ランプ	18、19
着信を振動でお知らせする	90
着信音	
着信音量を調節する	28
着信音を変える	88

着信自動応答	35
着信未応答通知	35
着信履歴	77
着信履歴の削除	78、79
着信履歴ボタン	18
長時間通話警報	31
長時間保留警報	40、45
追加ダイヤル	61、148
通話時間	111
通話できる範囲から外れたとき	138
通話ボタン	18
停電になったとき	146
デフォルトゲートウェイ	117
電源	
電源を入れる	24
電源を切る	24
電源アダプタ	17、25
電池	
使用可能時間の目安	26
電池カバー	17
電池残量を確認する	26
電池の残量がなくなったとき	135
電池残量警報音	135
電池パック	17、136
電池パック回収のお願い	134
電池パックの取り扱い	134
電池パックを交換する	134
電波の状態を確認する	26
電話がかかってきたとき	35
続けてかかってきた電話に応答する	35
電話番号を確かめる	36
不在のときにかかってきたときは	50
電話帳ダイヤル	61
着信履歴を電話帳に登録する	72
電話帳グループの電話番号を	
検索してかける	53、64
電話帳グループの名前をつける	71
電話帳に登録する	66
電話帳を修正する	68
電話帳を選択して削除する	70
発信履歴を電話帳に登録する	72

フリガナ検索	53、62	発信履歴	74
メモリ番号で検索してかける	53、61	発信履歴の削除	75
電話帳ボタン	18	発信履歴ボタン	18
電話をかける	30	ハンドストラップ取付穴	18
空いている外線を選んで		左ボタン（上下左右ボタン）	18
電話をかける	33、34	不在着信転送	50
アドレス帳ダイヤルでかける	80	解除する	52
充電台から取りあげてかける	97	外線不在転送を設定する	50
使用する外線を選んで電話をかける	30	普通に保留する	40
電話帳ダイヤルでかける	61	フックボタン	18
電話番号を確認してからかける	32	プッシュホンサービスを利用する	31
電話をかけてきた相手に		プリセットダイヤル	32
こちらからかける	77	プロバイダ	123
前に電話をかけた相手に再びかける	74	ヘッドセット	18、136
ワンタッチボタンでかける	49	別の電話機で応答する	37
電話を取りつく	43、44	返信／転送	105
特長	16	放送着信	35
特番	139	ポート番号	123、129
機能特番	140	保守サービス	156
設定特番	141	保留	40
ダイヤル中特番	139	同じパーク保留ボタンを設定した	
非ダイヤル中特番	141	電話機で取れるように保留する	42
		普通に保留する	40
		他の電話機で取れないように保留する	41
【ナ行】		保留応答	43
内線通話	46	保留転送	44
内線でお話する	46	相手の方とのお話しに戻る	43
内線の呼び出し方法	45	呼び出された方の応答を待たずに転送する	45
内線ボタン	18	保留ボタン	18
内線ランプ	19	本文	101
ナンバー・ディスプレイ	36	【マ行】	
抜け止め用フック	25	マナーモード	92
ネットワーク設定	116	マナーモードの機能の設定	92
		マナーモードの設定／解除	94
【ハ行】		右ボタン（上下左右ボタン）	18
パーク保留	42	無線LAN	9、10、16、116
パーク保留ボタン	42	無線LAN対応携帯電話	120
パーク保留ランプ	42		
廃棄（または譲渡、返却）される場合			
のご注意	11		
バイブレーション着信	90		

無線アクセスポイント	16、23、26
自動登録	122
メールサーバ	106、123、132
メニュー／カナ／英ボタン	18
メニュー機能の操作	29
文字を入力する	55、58
英字モード	56、59
カタカナモード	59
カナモード	56
漢字・かなモード	55
漢字モード	58
数字モード	56、59
文字と機能の割り当て一覧表	57、60
文字を修正する	57、60

【ヤ行】

ユーザ情報	123、124
呼出状態転送	45

【ラ行】

ランプ表示	19
ロックナンバー	95、96

【ワ行】

話中着信	35
ワンタッチボタン	48、49
電話をかける	49
登録した番号を変更する	49
登録内容を確認する	49
ワンタッチボタンに登録する	48

■仕 様

	電話機本体	充電台
寸法・質量	47 mm(幅)×26.8 mm(奥行)×141.1 mm (高さ) (アンテナおよび突起部を含まず) 約115 g(電池パックを含む)	68 mm(幅)×73.8 mm(奥行)×40.7 mm (高さ) 約50 g(電源アダプタを含まず)
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.7 V 1100 mAh	AC100 V(50/60 Hz) 専用電源アダプタDC5 V 2A
消費電力	約1.7 W	約3 W
充電時間	約6時間	_____
見通し距離	無線アクセスポイントから約30 m	_____
連続通話時間	約4.5時間	_____
連続待ち受け時間	約60時間	_____

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
トークニーナ

お問い合わせ先：☎ 0120-109217

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give

the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law:

that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications

and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the

terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a

work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place,

then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement

or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is

permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT

NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon,
President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

MEMO



Li-ion

電池パック（デンチパック-095）は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

注意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-109217

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区

06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2007 NTEAST・NTTWEST



本2895-1 (2007.9)
GX-IPCL-PSトリセツ<2>
4337060300 H01